

## 取扱説明書


**ピアノを弾く**

**いろいろな音で弾く**

6 ページ

このピアノにはたくさんの音色が内蔵されています。  
いろいろな音色を選んでみましょう。  
音色名は「音色一覧」(P.28)をご覧ください。


**2人で弾く (ツインピアノ)**

7 ページ

まるで2台のピアノを弾くように、鍵盤を左右に分けて演奏することができます。


**曲を練習する**

**メトロノームを鳴らす**

8 ページ

メトロノームを鳴らすことができます。


**内蔵曲に合わせて練習する**

9 ページ

このピアノにはたくさんの曲が内蔵されています。  
曲名は「内蔵曲一覧」(P.29)をご覧ください。


**練習している曲を録音する**

10 ページ

演奏を録音することができます。


**ピアノを調節する**

**鍵盤を弾いたときのタッチ感を変える**

6 ページ

演奏者の好みに合わせて、鍵盤を弾いたときのタッチ感を調節できます。


**他の楽器と音の高さを合わせる**

20 ページ

他の楽器とアンサンブルするときなど、本機の基準ピッチを他の楽器に合わせるすることができます (マスターチューニング)。


**自分だけのピアノを作る (ピアノデザイナー)**

13 ページ

グランドピアノの音の要素を調節して、好みのピアノの音を作ることができます。

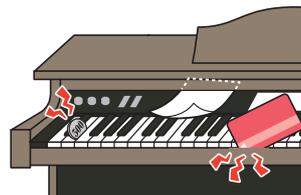
# はじめにお読みください

## ご注意！

- お子様が生ピアノの上に乗ったり、ぶら下がったりしないよう、必ず大人のかたが監視／指導してください。ピアノが転倒して、お子様がけがをする恐れがあります。



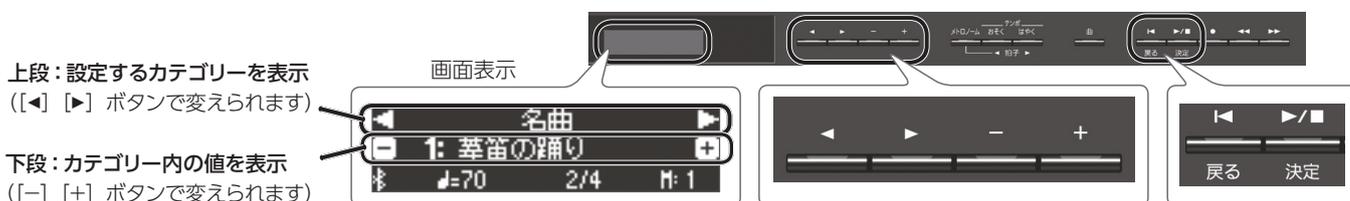
- 蓋や鍵盤の隙間から、楽譜などの紙や異物がピアノ内に入り込まないようにご注意ください。また、蓋の上に紙を置いたまま、蓋を開けないでください。取り出せなくなり、故障の原因になります。



## 基本操作

このピアノは、操作パネルのボタンを使って各機能の設定ができます。

画面に表示される「◀」▶」「-」+」「決定▶/■」「◀戻る」は、各機能を設定するときに操作するボタンを表しています。



上段：設定するカテゴリーを表示  
(◀ ▶ ボタンで変更されます)

下段：カテゴリー内の値を表示  
(- + ボタンで変更されます)

### 設定するカテゴリーを選ぶ

◀ ▶ ボタンで設定したいカテゴリーを選ぶ。

### カテゴリー内の値を選ぶ

- + ボタンでカテゴリー内の値を変える。

### 「決定」と「戻る」

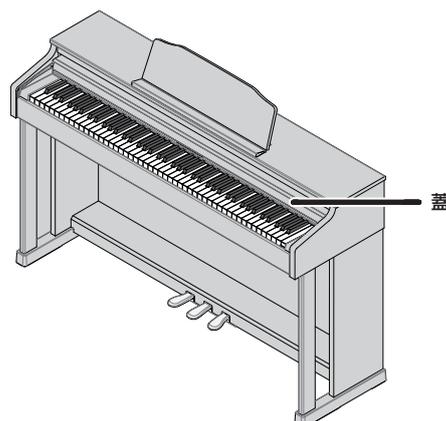
選んだカテゴリーや値を ▶/■ (決定) ボタンで決定する。

◀ (戻る) ボタンでひとつ前の操作に戻る。

## 蓋で操作パネルを見えなくする (アコースティック・ポジション)

蓋をゆっくり開けると、操作パネルが隠れる位置で止まります。蓋でパネルを覆うことで、アコースティック・ピアノを弾いているような感覚で、演奏に集中できます。蓋をさらに奥へ押し上げると、操作パネルが見える位置で蓋が止まります。

※ 蓋を開閉するときは、可動部と本体の間に指をはさまないようにしてください。お子様のいる場所を使用する場合はご注意ください。



# 目次

はじめにお読みください.....	2	初期設定済みのモバイル機器を接続する.....	17
基本操作.....	2	オーディオを再生する.....	17
主な仕様.....	3	アプリと連携して使う.....	18
かんたんクイック・ガイド.....	4	ピアノと連携して使えるアプリ例.....	18
電源を入れる／切る.....	4	設定をする（ペアリング）.....	18
音色を選ぶ.....	4	譜面表示アプリの譜めくりをペダルで操作する.....	19
メトロノームを使う.....	4	初期設定をする（ペアリング）.....	19
曲を選ぶ／再生する.....	4	初期設定済みのモバイル機器を接続する.....	19
各部の名称とはたらき.....	5	譜めくりをする.....	19
操作ガイド.....	6	各種設定.....	20
音色を選ぶ.....	6	いろいろな設定をする（ファンクション・モード）.....	20
全体の音量を調節する.....	6	ファンクション・モードの基本操作.....	20
音に響きをつける（音の響き）.....	6	他の楽器と音の高さを合わせる（マスターチューニング）.....	20
音の明るさを調節する（音の明るさ）.....	6	調律法を変える（調律法）.....	20
鍵盤のタッチ感を変える（キータッチ）.....	6	調律の主音を設定する（調律法主音）.....	20
いろいろな設定をする（ファンクション・モード）.....	6	曲（SMF形式）の音量を調節する（曲ボリューム SMF）.....	20
鍵盤を2つに分けて演奏する（ツインピアノ）.....	7	曲（オーディオ）の音量を調整する（曲ボリューム AUDIO）.....	20
移調して演奏する（トランスポーズ）.....	7	オーディオ再生機器や Bluetooth オーディオの音量を調節する（Input/Bluetooth ボリューム）.....	20
左手と右手で違う音色にする（スプリット演奏）.....	7	曲（SMF形式）再生時の鍵盤の音色を設定する（SMF 再生モード）.....	21
自分だけのピアノ音色を作る（ピアノデザイナー）.....	7	録音するときの形式を選ぶ（録音モード）.....	21
2つの音色を重ねる（デュアル演奏）.....	7	ペダルの効果のかけかたを変える（右ペダルパート）.....	21
ディスプレイ.....	8	ペダルのはたらきを変える（中央ペダル機能）.....	21
Bluetooth 機能を使う.....	8	ペダルの効果のかけかたを変える（左ペダル機能）.....	21
項目を選ぶ／値を変える（基本操作）.....	8	ディスプレイの明るさを調節する（ディスプレイコントラスト）.....	21
メトロノームを鳴らす.....	8	音量の最大値を設定する（ボリュームリミット）.....	21
曲を選ぶ.....	9	外部スピーカーと内蔵スピーカーの両方から音を出す（スピーカー・オート・ミュート）.....	22
再生する／録音する.....	9	シーケンサーとつないだときの2度鳴りを防ぐ（ローカルコントロール）.....	22
ボタンが効かないようにする（パネル・ロック）.....	9	MIDI 送信チャンネルを変える（MIDI 送信チャンネル）.....	22
再生するパートを選ぶ（パート・ミュート）.....	9	ディスプレイに表示される言語を変える（言語（Language））.....	22
応用編.....	10	一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする（オートオフ）.....	22
演奏を録音する.....	10	自動で設定を保存する（自動メモリーバックアップ）.....	22
録音する.....	10	機器をつなぐ.....	23
新しく曲を録音する.....	10	安全上のご注意.....	24
録音した演奏を重ねて録音する.....	10	使用上のご注意.....	24
USB メモリーにオーディオ録音する.....	11	故障かな?と思ったら.....	25
保存した曲を削除する（曲の削除）.....	11	こんな表示が出たら（エラー・メッセージ）.....	27
保存した曲をコピーする（曲のコピー）.....	12	音色一覧.....	28
曲の名前を変更する（曲の名前変更）.....	12	内蔵曲一覧.....	29
自分だけのピアノ音色を作る（ピアノデザイナー）.....	13		
ピアノの設定を読み込む／保存する.....	14		
ピアノ設定を保存する（ピアノ設定の保存）.....	14		
ピアノ設定を読み込む（ピアノ設定の読み込み）.....	14		
便利な機能.....	15		
メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）.....	15		
お買い上げ時の設定に戻す（ファクトリーリセット）.....	15		
Bluetooth®（ブルートゥース）機能を使う.....	16		
こんなことができます.....	16		
ピアノのスピーカーで音楽を聴く.....	17		
初期設定をする（ペアリング）.....	17		

## 主な仕様

ローランド HP601 : デジタル・ピアノ

	HP601
音源	ピアノ音：スーパーナチュラル・ピアノ音源
鍵盤	PHA-50 鍵盤：ハイブリッド構造（木材×樹脂センターフレーム）、エスケープメント付、象牙調・黒檀調（88 鍵）
Bluetooth	オーディオ Bluetooth 標準規格 Ver 3.0 (SCMS-T 方式によるコンテンツ保護に対応)
	MIDI、譜めくり Bluetooth 標準規格 Ver 4.0
電源	AC アダプター
消費電力	5W (4W ~ 22W)
外形寸法 (専用スタンド込み)	譜面立てを含む： 1,379 (幅) × 430 (奥行) × 1,014 (高さ) mm

	HP601
質量 (専用スタンド込み)	50.0kg
付属品	取扱説明書、「安全上のご注意」チラシ、保証書、ローランド ユーザー登録カード、楽譜集「ローランド・クラシック・ピアノ名曲集」、楽譜集「楽しく弾ける・ピアノ・アレンジ・コレクション」、AC アダプター、電源コード、ヘッドホン、ヘッドホン・フック、専用高低自在椅子
別売品	USB メモリー ※ 市販の USB メモリーまたはローランドが販売している USB メモリーをお使いください。ただし、市販されている USB メモリーすべての動作を保証するものではありません。

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランドホームページをご覧ください。

# かんたんクイック・ガイド

## 電源を入れる／切る

### 電源を入れる

#### 1. [⏻] (電源) ボタンを押す。

数秒後に、鍵盤を弾いて音を出せるようになります。

※ ピアノは回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。



#### 2. [ボリューム] ボタンで、音量を調節する。



### 電源を切る

#### 1. [⏻] (電源) ボタンを長押しする。

電源が切れます。

## 音色を選ぶ

このピアノでは、ピアノやピアノ以外のさまざまな音色で演奏を楽しむことができます。



#### 1. 音色ボタンを押す。

音色のグループを選びます。

ボタン	説明
ピアノ [グランド] ボタン	グランドピアノの音色
ピアノ [アップライト] ボタン	アップライトピアノの音色
ピアノ [クラシカル] ボタン	フォルテピアノやチェンバロなどの音色
[E.ピアノ] ボタン	エレクトリック・ピアノの音色
[その他] ボタン	弦楽器、オルガン、伴奏用などの、さまざまな音色

#### 2. [-] [+] ボタンで、音色を選ぶ。

#### メモ

詳しい音色については、「音色一覧」(P.28)をご覧ください。

6 ページ

## メトロノームを使う

メトロノームを鳴らしながら、演奏することができます。



#### 1. [メトロノーム] ボタンを押す。

#### 2. [おそく] [はやく] ボタンを押す。

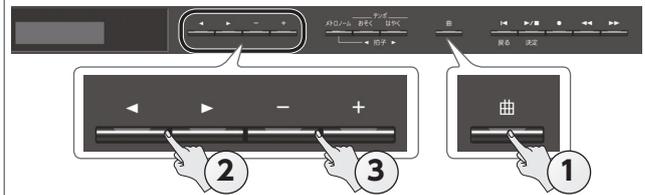
メトロノームのテンポが変わります。

8 ページ

## 曲を選ぶ／再生する

曲に合わせて演奏することができます。

### 曲を選ぶ



#### 1. [曲] ボタンを押す。



#### 2. [◀] [▶] ボタンで、カテゴリーを選ぶ。

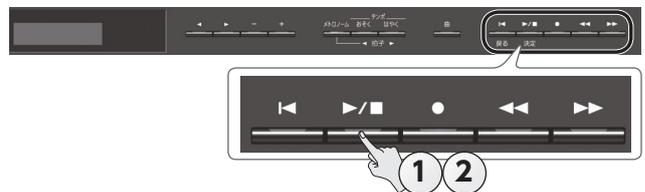
カテゴリー	説明
USB メモリー	USB メモリーに保存した曲
内部メモリー	内部メモリーに保存した曲
リスニング	リスニングにおすすめのピアノ曲
名曲	付属の楽譜集「ローランド・クラシック・ピアノ名曲集」に対応した曲
コレクション	付属の楽譜集「楽しく弾けるピアノ・アレンジ・コレクション」に対応した曲
セレクション	ポピュラーやクラシックなどの名曲
スケール	ピアノの内蔵曲 スケール全調 (メジャー・スケール、マイナー・スケール) 巻末の「スケール楽譜集」に対応した曲
ハノン	ハノン・ピアノ教本より 第1～20番
バイエル	バイエル・ピアノ教則本 第1～106番
ブルグミュラー	ブルグミュラー 25の練習曲
ツェルニー100番	ツェルニー 100番の練習曲

#### 3. [-] [+] ボタンで、カテゴリー内の曲を選ぶ。

#### メモ

内蔵曲については「内蔵曲一覧」(P.29)をご覧ください。

### 曲を再生する



#### 1. [▶/■] ボタンを押す。

曲が再生されます。

#### 2. もう一度、[▶/■] ボタンを押す。

曲が停止します。

#### 曲の操作

曲の先頭に戻す	[◀] ボタンを押す。
再生/停止する	[▶/■] ボタンを押す。
早戻しする	[◀◀] ボタンを押す。
早送りする	[▶▶] ボタンを押す。
カテゴリー内の曲を全曲再生する (オール・ソング・プレイ)	[曲] ボタンを押しながら [▶/■] ボタンを押す。
曲のテンポを変える	[おそく] [はやく] ボタンを押す。

9 ページ

# 各部の名称とはたらき

## [ON] ボタン

電源を入れるときは、[ON] ボタンを押します。  
電源を切るときは、[ON] ボタンを長押しします。



- ※ 画面に「電源を抜かないでください」と表示されている間は、電源コードを抜かないでください。
- ※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がしますが、故障ではありません。

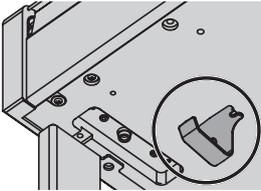
## オートオフ機能について

このピアノは、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（オートオフ機能）。自動的に電源が切れないようにするには、オートオフ機能を解除してください（P.22）。

- 電源が切れると保存されていない設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください。
- 電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

## ヘッドホン・フック

ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホン・フックにヘッドホンをかけておくことができます。

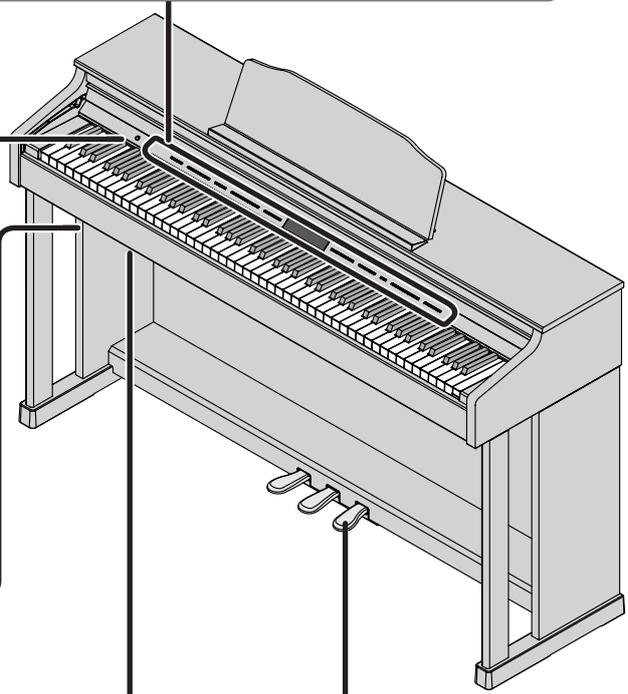


- ※ ヘッドホン・フックにヘッドホン以外のものをかけたり、無理な力を加えたりしないでください。ヘッドホン・フックを破損することがあります。

## フロント・パネル

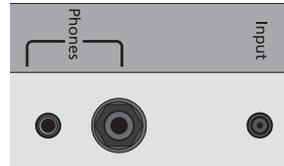
画面に表示された項目をボタンで選んで、ピアノを操作します。

6 ページ

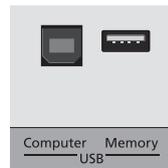


## 底面板

ヘッドホンやオーディオ・プレーヤーなどをつなぎます（左側）。

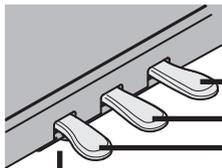


USB ケーブルでパソコンにつないだり、USB メモリーをつないだりできます（奥）。



23 ページ

## ペダル

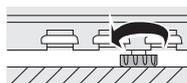


### アジャスターの調節

使用状況や設置環境によっては、時間がたつにつれてアジャスターが上がり、ペダルを踏んだときに異音が生じることがあります。この場合は、アジャスターを調節してください。

### 調節方法

ペダルボードの下にあるアジャスターを下げて、床に当たるように調節します。カーペットの上などに設置するときは、床面を少し強く押し付ける（床に突っ張る）ぐらいに下げてください。



### ダンパー・ペダル

音に余韻を与えたいときに使います。このペダルを踏んでいる間、鍵盤から指を離しても音が切れずに長い余韻が続きます。

アコースティック・ピアノのダンパー・ペダルの以下のような特長を再現しています。

- 踏み込み始めは軽く、途中から重くなる感触の変化
- 弾いた鍵盤の音が、他の弦に共鳴して加わる豊かな響きと広がり
- 踏み込み具合を調節し音の反響を加減する「ハーフ・ペダル奏法」で、音の芯（しん）がすぐに消えて豊かな広がりや響きだけが残る独特な余韻

### ソステヌート・ペダル

このペダルを踏んだときに押さえていた鍵盤の音だけに余韻を与えます。

### ソフト・ペダル

音に柔らかさを与えたいときに使います。このペダルを踏んだまま鍵盤を弾くと、通常同じ強さで弾いたときの音よりも柔らかい音が出ます。グランドピアノの左側のペダルと同じはたらきです。ペダルを踏む深さによって、音の柔らかさが微妙に変わります。

- ※ ペダルを操作するときは、可動部と本体の間に指をはさまないようにしてください。お子様のいる場所で使用する場合はご注意ください。

# 操作ガイド

## 基本操作

設定項目を選ぶ	[◀] [▶] ボタンを押す。
項目内の値を変える	[-] [+] ボタンを押す。
値を初期値に戻す	[-] [+] ボタンを同時に押す。



## 音色を選ぶ

このピアノでは、ピアノやピアノ以外のさまざまな音色で演奏を楽しむことができます。音色は5つのグループがあり、それぞれ音色ボタンを押して選びます。

**メモ**  
詳しい音色については、「音色一覧」(P.28)をご覧ください。

### 音色を選ぶ

1. [グランド] ボタンなどの音色ボタンを押す。
2. [-] [+] ボタンで、グループ内の音色を選ぶ。

ディスプレイの見かた



### 音色を試聴する (音色デモ)

1. [キータッチ] ボタンを押しながら [設定] ボタンを押す。
2. 音色を選ぶ。  
各音色グループの音色デモを聴くことができます。

3. 音色デモを終えるときは、[◀] (戻る) ボタンを押す。

### 音色のグループ

ボタン	説明
ピアノ [グランド] ボタン	グランドピアノの音色
ピアノ [アップライト] ボタン	アップライトピアノの音色
ピアノ [クラシカル] ボタン	フォルテピアノやチェンバロなどの音色
[E.ピアノ] ボタン	エレクトリック・ピアノの音色
[その他] ボタン	弦楽器、オルガン、伴奏用などの、さまざまな音色

**メモ**  
[◀] [▶] ボタンを押して、次のカテゴリーの音色を選ぶことができます。

※ コンボ・オルガンやバラード・オルガンなどのロータリー効果 (\*1) のかかるオルガン音色を選んでいるときに [その他] ボタンを押すと、ロータリー効果のうねりの速さを変えることができます。

\*1 ロータリー効果は、回転スピーカーを使ったときのように音にうねりをつける効果です。ロータリー効果は、「速い」と「遅い」の2種類があります。

## 全体の音量を調節する

本体スピーカー使用時はスピーカーの音量、ヘッドホン接続時はヘッドホンの音量を調節することができます。

音量を調節する 0 ~ 100 (初期値: 50)



## 音に響きをつける (音の響き)

音にコンサート・ホールで演奏しているような響きをつけます。

音の響きを調節する	数字が大きいほど音の響きが深くなり、数字が小さいほど音の響きは浅くなります。 ※ ヘッドホン使用時は「ヘッドホン 3D アンビエンス」機能が「オン」のときのみヘッドホンから聞こえる音の響きを調節できます。
	0 ~ 10 (初期値: 2)
ヘッドホン 3D アンビエンス (ヘッドホン使用時)	ヘッドホン使用時でも、ピアノ本体から音が聞こえるような効果をかけることができます。 ※ ヘッドホン 3D アンビエンス効果はピアノ音色以外には効きません。
	オフ、オン (初期値: オン)

※ オーディオ・ファイルに音の響き効果はかかりません。

## いろいろな設定をする (ファンクション・モード)

- ピアノの詳細設定をします。
1. [設定] ボタンを押す。
  2. [◀] [▶] ボタンで設定したい項目を選ぶ。
  3. [-] [+] ボタンで項目内の設定値を変える。

20 ページ

## 鍵盤のタッチ感を変える (キータッチ)

鍵盤を弾いたときの手応え (タッチ感) を変えます。

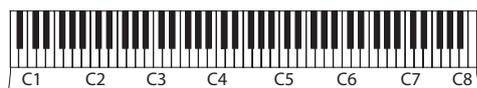
キータッチを調節する	初期値 (50)	アコースティック・ピアノが一番近いタッチです。
	1 ~ 100	値が大きくなるほど、鍵盤が重く感じられます。
	固定 (Fix)	鍵盤を弾く強さに関係なく、一定の音量で音が鳴ります。
	設定値: Fix、1 ~ 100 (初期値: 50)	
ハンマーレスポンス	鍵盤を弾いてからピアノ音が鳴るまでの時間を調節します。値が大きくなるほど遅くなります。	
	オフ、1 ~ 10 (初期値: 1)	

### 鍵盤を2つに分けて演奏する (ツインピアノ)

鍵盤を左右の領域に分けて、2人で同じ音域で演奏することができます。

ツインピアノをオンにする	[ツインピアノ] ボタンを押す。	
ツインピアノの音色を変える	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 音色ボタンを押す。</li> <li>2. [-] [+ ] ボタンで音色を選ぶ。</li> </ol>	
音の鳴りかたを変える (モード)	ペア	右側領域の音は右スピーカーが大きく、左側領域の音は左スピーカーが大きく鳴ります。
	セパレート	右側領域の音は右スピーカーからのみ、左側領域の音は左スピーカーからのみ鳴ります。

通常の鍵盤



ツインピアノ



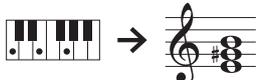
左側鍵盤のダンパー・ペダル 右側鍵盤のダンパー・ペダル

### 移調して演奏する (トランスポーズ)

鍵盤や曲を半音単位で移調することができます。

たとえば、ホ長調 (E) の曲をハ長調 (C) の鍵盤の位置で弾く場合は、鍵盤の移調を「4」に設定します。

ドミソと弾くと→ミソ#シと鳴る



鍵盤の移調	-6 ~ 0 ~ 5 (初期値: 0)
曲の移調	-12 ~ 0 ~ 12 (初期値: 0)

**メモ**  
 [トランスポーズ] ボタンを押しながら、移調したい調の主音にあたる鍵盤を押して、鍵盤の移調の値を変えることもできます。

### 自分だけのピアノ音色を作る (ピアノデザイナー)

グランドピアノの音の要素を調節して、好みのピアノの音色を作ります。

1. [ピアノデザイナー] ボタンを押す。
2. [◀ ▶] ボタンで、設定したい項目を選ぶ。
3. [-] [+ ] ボタンで、設定値を変える。



※ ピアノデザイナーで音色を作ることができるのは、[グランド] ボタンの音色のみです。

13 ページ



### 左手と右手で違う音色にする (スプリット演奏)

たとえば、左手はベースの音、右手はピアノの音で演奏するなど、ある鍵を境に鍵盤右側と左側のそれぞれで違う音色で演奏することができます。このような演奏を「スプリット演奏」といい、鍵盤が分かれる位置を「スプリット・ポイント」といいます。

スプリットをオンにする	[スプリット] ボタンを押す。
右手音色、左手音色を変える	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [◀ ▶] ボタンで、「右手音色」または「左手音色」を選ぶ。</li> <li>2. 音色ボタンを押す。</li> <li>3. [-] [+ ] ボタンを押す。</li> </ol> スプリット・ポイントを変える。
スプリット・ポイント	<p><b>メモ</b></p> [スプリット] ボタンを押しながら分割する位置の鍵盤を押して、スプリット・ポイントを設定することもできます。 B1 ~ B6 (初期値: F#3)
バランス	スプリット演奏の音量バランスを変える。 9:1 ~ 9:9 ~ 1:9 (初期値: 9:9)
左手シフト	左手音色の音の高さをオクターブ単位で変える。 -2 ~ 0 ~ 2 (初期値: 0)



### 2つの音色を重ねる (デュアル演奏)

1つの鍵盤で、2つの音色を同時に重ねて鳴らすことができます。このような演奏を「デュアル演奏」といいます。

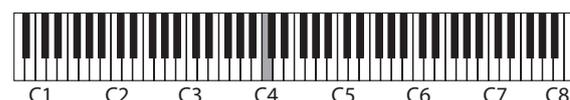
デュアルをオンにする	[デュアル] ボタンを押す。
音色1、音色2を変える	<p><b>メモ</b></p> 2つの音色ボタンを同時に押して、デュアル演奏することもできます。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [◀ ▶] ボタンで、「音色1」または「音色2」を選ぶ。</li> <li>2. 音色ボタンを押す。</li> <li>3. [-] [+ ] ボタンを押す。</li> </ol> デュアル演奏の音量バランス (音色1:音色2) を変える。 9:1 ~ 9:9 ~ 1:9 (初期値: 9:4)
音色2シフト	音色2の音の高さを、オクターブ単位で変える。 -2 ~ 0 ~ 2 (初期値: 0)

※ 音色の組み合わせによっては、音色2にエフェクトがかからないため、音色の間こえかたが変わることがあります。

### 音名 (C4 など) の読みかた

スプリット・ポイントなどの設定値のアルファベットは、音名を表しています。A = ラ、B = シ、C = ド・・・G = ソになります。

たとえば、「C4」の場合は、鍵盤の左端から「4番目のド」を表します。





### ディスプレイ

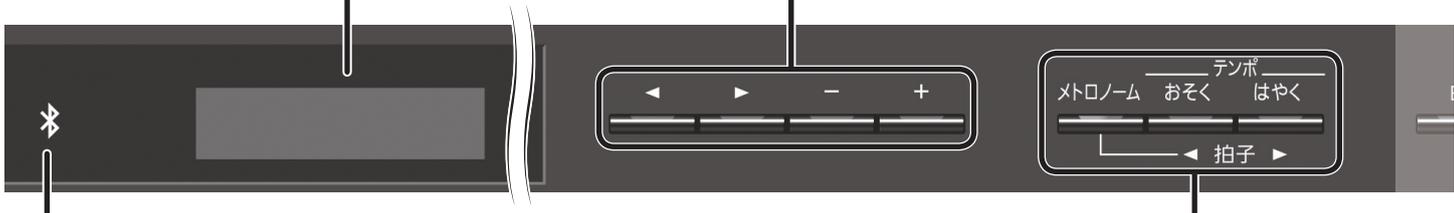
音色名、曲名、テンポ、拍子などを表示します。画面に表示される「◀」▶」「-」「+」は、各機能を設定するときに表示されるボタンを表しています。

Bluetoothの接続状態    テンポ    拍子    鍵盤の移調    曲の移調    音色名または曲名

### 項目を選ぶ／値を変える（基本操作）

「◀」▶」「-」「+」ボタンを押して、画面に表示される項目や値を選ぶことができます。

設定する項目を選ぶ	「◀」▶」ボタンを押す。
項目内の値を変える	「-」「+」ボタンを押す。
連続して値を変える	「-」ボタンまたは「+」ボタンを押し続ける。
値を初期値に戻す	「-」ボタンと「+」ボタンを同時に押す。



### Bluetooth 機能を使う

Bluetooth 対応のオーディオ・プレーヤーの音をピアノから鳴らしたり、モバイル機器にインストールしたアプリと連携してピアノを使ったりすることができます。

ピアノの電源を入れると、Bluetooth インジケータが点灯します。ペアリング中や接続／切断時は、Bluetooth インジケータが点滅します。

**16 ページ**

### メトロノームを鳴らす

メトロノームを鳴らしながら、演奏することができます。メトロノームのテンポや拍子を変えることもできます。

曲の再生中は、メトロノームはその曲のテンポや拍子に合わせて鳴ります。

**メモ**

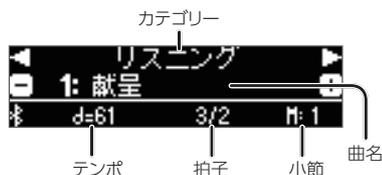
- 「◀」▶」ボタンを押して、設定する項目を選ぶことができます。
- 「-」「+」ボタンを押して、項目内の値を変えることができます。

メトロノームを鳴らす	[メトロノーム] ボタンを押してオンにする。
テンポを変える	[おそく] [はやく] ボタンを押す。 10 ~ 500
拍子	メトロノームの拍子を変えます。 <b>メモ</b> [メトロノーム] ボタンを押しながら [おそく] [はやく] ボタンを押しても、拍子を変えることができます。 2/2、3/2、2/4、3/4、4/4、5/4、6/4、7/4、3/8、6/8、8/8、9/8、12/8 (初期値: 4/4)
強拍	1 拍目に強い音 (強拍) を鳴らす。 オフ、オン (初期値: オン)
パターン	メトロノームのパターンを変える。 オフ、8 分音符、3 連符、シャッフル、16 分音符、2 拍 3 連、4 分音符、付点 8 分音符 (初期値: オフ)
音量	メトロノームの音量を変える。 オフ、1 ~ 10 (初期値: 5)
音色	メトロノームの音色を変える。 クリック、電子音、いちに、One Two (初期値: クリック)

### 曲を選ぶ

再生する曲を選びます。

1. [曲] ボタンを押して画面を表示する。



2. [◀] [▶] ボタンで、カテゴリーを選ぶ。

3. [-] [+] ボタンで、曲を選ぶ。

4. [▶/■] ボタンを押して、曲を再生する。

#### メモ

USBメモリーのフォルダーの中にある曲を選ぶときは、以下の操作をします。

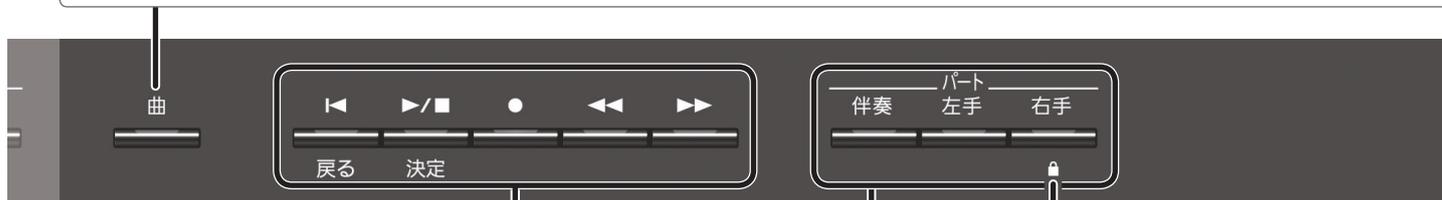
フォルダーに入る	[-] [+] ボタンでそのフォルダーを選んでから、[▶/■] (決定) ボタンを押す。
フォルダーから抜ける	[-] ボタンで「(上る)」を選んでから、[▶/■] (決定) ボタンを押す。

### カテゴリー一覧

カテゴリー	説明
USBメモリー	USBメモリーに保存した曲
内部メモリー	内部メモリーに保存した曲
リスニング	リスニングにおすすめのピアノ曲
名曲	同梱の楽譜集「ローランド・クラシック・ピアノ名曲集」に対応した曲
コレクション	同梱の楽譜集「楽しく弾けるピアノ・アレンジ・コレクション」に対応した曲
セレクション	ポピュラーやクラシックなどの名曲
スケール	スケール全調 (メジャー・スケール、マイナー・スケール) 巻末の「スケール楽譜集」に対応した曲
ハノン	ハノン・ピアノ教本より 第1～20番
バイエル	バイエル・ピアノ教則本 第1～106番
ブルグミュラー	ブルグミュラー 25の練習曲
ツェルニー 100番	ツェルニー 100番の練習曲

#### メモ

内蔵曲については「内蔵曲一覧」(P.29)をご覧ください。



### 再生する／録音する

曲を再生／録音します。

曲の先頭に戻す	[◀] ボタンを押す。
再生／停止する	[▶/■] ボタンを押す。
録音待機にする	停止中に [●] ボタンを押す。
録音する	録音待機中に [▶/■] ボタンを押す。
早戻しする	[◀◀] ボタンを押す。
早送りする	[▶▶] ボタンを押す。
カテゴリー内の曲を全曲再生する (オール・ソング・プレイ)	[曲] ボタンを押しながら [▶/■] ボタンを押す。
曲のテンポを変える	[おそく] [はやく] ボタンを押す。
曲のテンポを一定にして再生する (テンポ・ミュート)	[▶/■] ボタンを押しながら [おそく] または [はやく] ボタンを押す。 テンポ・ミュートを解除するときは、もう一度 [▶/■] ボタンを押しながら [おそく] または [はやく] ボタンを押す。
カウント・イン (*1) を鳴らす	[メトロノーム] ボタンを押しながら [▶/■] ボタンを押す。

\*1 カウントを鳴らしてから曲を再生することを「カウント・イン」といいます。曲に合わせて演奏するときにカウントを鳴らすことで、曲と自分の演奏のタイミングを合わせやすくなります。

#### 新規録音する

1. 演奏する音色を選ぶ。
2. [●] ボタンを押す。
3. [▶/■] ボタンを押して録音を始める。
4. [▶/■] ボタンを押して停止する。

#### 重ね録音する

1. 重ね録音する曲を選ぶ。
2. [●] ボタンを押す。
3. カーソル [▶] (右) ボタンを押す。
4. 録音するパートのボタンを押して点滅させる。
5. [▶/■] ボタンを押して録音を始める。
6. [▶/■] ボタンを押して停止する。

### ボタンが効かないようにする (パネル・ロック)

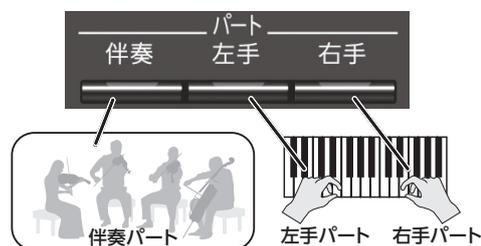
[0] ボタンと [ボリューム] ボタン以外のボタンを効かなくすることで、誤操作を防ぎます。

パネルをロックする	画面に「  」マークが表示されるまで、[右手] ボタンを押し続ける。
ロックを解除する	「  」マークが消えるまで [右手] ボタンを押し続けるか、電源を切る。

### 再生するパートを選ぶ (パート・ミュート)

ピアノの内蔵曲は、3つのパート (伴奏、左手、右手) で構成されています。特定のパートを鳴らないようにして (ミュート)、必要なパートだけを再生することができます。

パートを鳴らす	鳴らしたいパートのボタンを点灯させる。
パートをミュートする	鳴らさないパートのボタンを消灯させる。



※ 左手パートや伴奏パートがない曲があります。その場合は、パートのボタンを押しても点灯しません。

※ オーディオ・ファイルの再生では、パート・ミュート機能は使えません。

### このピアノで再生できる曲の形式

このピアノは以下の形式のデータを再生できます。

- SMF フォーマット 0/1
- オーディオ・ファイル: WAV 形式、44.1kHz、16ビット・リニア

## 演奏を録音する

このピアノは、録音した曲を再生して自分の演奏を確認したり、録音した曲に合わせて練習したりすることができます。

### 録音する

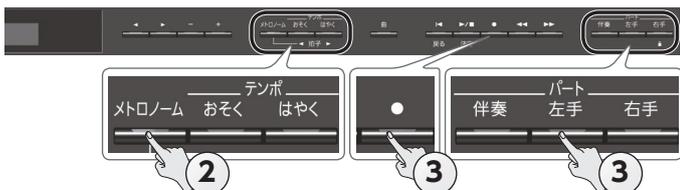
#### 新しく曲を録音する

SMF 録音

演奏を録音し、ピアノで再生します。

片手ずつ録音して、あとで両手合わせた演奏を聴くこともできます。

#### 録音の準備



1. 演奏する音色を選びます (P.6)。
2. 必要に応じて、メトロノームを鳴らします (P.8)。  
メトロノームのテンポや拍子を設定できます。

#### メモ

メトロノームのテンポや拍子が曲に記憶され、再生時にも同じテンポと拍子で鳴らすことができます。

### 3. [●] ボタンを押します。

[●] ボタンが点灯、[▶/■] ボタンが点滅し、録音待機状態になります。

録音を中止するときは、もう一度 [●] ボタンを押します。

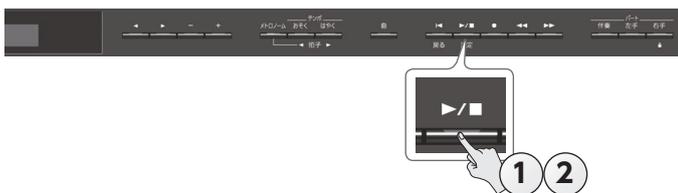
#### メモ

左手と右手を片手ずつ録音する場合は、録音するパート (左手、右手) のパート・ボタンを押して、点滅させます。

※ パートの設定をしない場合は、以下のボタンに録音されます。

1 音色での演奏時	[右手] ボタン
左手と右手で違う音色にして演奏するとき (スプリット演奏時)	[右手] ボタンと [左手] ボタン
鍵盤を左右に分けて同じ音域で演奏するとき (ツインピアノ演奏時)	[右手] ボタンと [伴奏] ボタン
2つの音色を重ねて演奏するとき (デュアル演奏時)	[右手] ボタンと [伴奏] ボタン

#### 録音を始める／保存する



### 1. [▶/■] ボタンを押します。

2小節のカウント音が鳴ってから、録音が始まります。  
(画面右下に小節数が「-2」「-1」と表示されます)

カウントが始まると、[●] ボタンと [▶/■] ボタンが点灯します。

#### メモ

[▶/■] ボタンを押さずに鍵盤を弾くと、そのまま録音が始まります。このときは、カウント音は鳴りません。

### 2. [▶/■] ボタンを押します。

録音が止まり、演奏が自動で保存されます。

#### メモ

- 録音した曲を削除することができます (P.11)。
- 録音した曲の名前を変更することができます (P.12)。

#### ご注意!

画面に「保存中…」と表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。

#### 録音した演奏を聴く

録音後は、録音した曲が選ばれています。

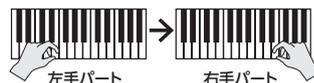
### 1. [▶/■] ボタンを押します。

録音した演奏の先頭から、再生が始まります。

#### 録音した演奏を重ねて録音する

SMF 録音

左手 (右手) の演奏をした録音を重ねて、右手 (左手) の演奏を録音します。



### 1. 重ね録音する演奏の録音データを選びます (P.9)。

#### メモ

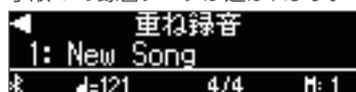
演奏の一部だけを録音し直したいときは、[◀◀] [▶▶] ボタンを押して、録音を開始したい小節に移動します。

### 2. [●] ボタンを押します。

[●] ボタンが点灯、[▶/■] ボタンが点滅し、録音待機状態になります。このとき、New Song (新しい曲) が選ばれます。  
録音を中止するときは、もう一度 [●] ボタンを押します。

### 3. [▶] (右) ボタンを押します。

手順1の録音データが選ばれます。



#### メモ

重ね録音する演奏のテンポと拍子は、選んだ録音データの設定に従います。

### 4. 録音するパート (左手、右手) のパート・ボタンを押して、点滅させます。

ボタンが点灯しているパートは、録音時に再生されます。

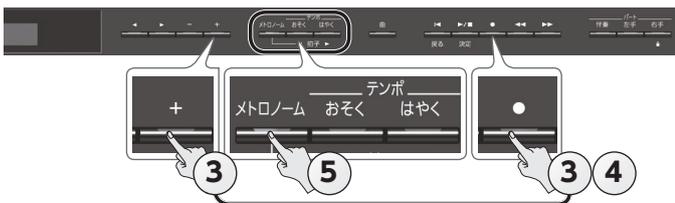
### 5. 「録音を始める／保存する」 (P.10) の手順に従って、録音を始めます。

## USB メモリーにオーディオ録音する **オーディオ録音**

ピアノで録音した演奏をパソコンやオーディオ・プレーヤーで聴いたり、CDを作成したりしたい場合は、USB メモリーにオーディオ録音します。



### 録音の準備



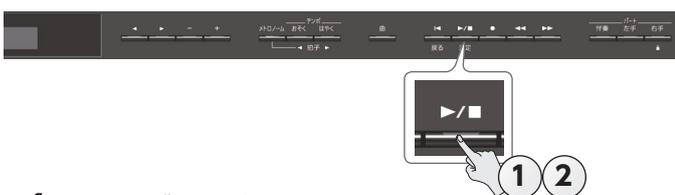
1. USB メモリーを USB Memory 端子につなぎます (P.23)。
  - ※ オーディオ・データは、ピアノの内部メモリーに保存できません。
2. 演奏する音色を選びます (P.6)。
3. [●] ボタンを押しながら [+] ボタンを押して、「オーディオ」を選びます。

#### メモ

ファンクション・モードの「録音モード」から設定することもできます (P.21)。

4. [●] ボタンを押します。
  - [●] ボタンが点灯、[▶/■] ボタンが点滅し、録音待機状態になります。
  - 録音を中止するときは、もう一度 [●] ボタンを押します。
5. 必要に応じて、メトロノームを鳴らします (P.8)。

### 録音を始める／保存する



1. [▶/■] ボタンを押します。
  - 録音が始まります。
  - 録音が始まると、[●] ボタンと [▶/■] ボタンが点灯します。

#### ご注意!

録音中は、絶対に電源を切ったり USB メモリーを抜いたりしないでください。

2. [▶/■] ボタンを押します。
  - 録音が止まり、演奏が自動で保存されます。

#### メモ

- 録音した曲を削除することができます (P.11)。
- 録音した曲の名前を変更することができます (P.12)。

### 録音した演奏を聴く

録音後は、録音した曲が選ばれています。

1. [▶/■] ボタンを押します。
  - 録音した演奏の先頭から、再生が始まります。

### SMF 録音した曲をオーディオに変換する

一度 SMF 録音した曲でも、オーディオ・データに変換することで、パソコンで聴けるようにしたり、CD を作成したりすることができます。

1. オーディオに変換する録音データを選ぶ (P.9)。
2. オーディオ録音の準備をする (「録音の準備」(P.11))。
  1. USB メモリーをつなぐ。
  2. [●] ボタンを押しながら [+] ボタンを押して、「オーディオ」を選ぶ。
  3. [●] ボタンを押す。
3. [▶] (右) ボタンを押して、手順 1 の曲を選ぶ。
4. [▶/■] ボタンを押して、オーディオ録音を始める (「録音を始める／保存する」(P.11))。

※ 録音中に鍵盤を弾いたり、USB 端子、Input 端子、Bluetooth オーディオなどから、ピアノに音声が入力されたりすると、その音を含むすべての音に変換されます。また、ミュートしているパートは変換されません。

※ SMF によっては、録音したときの状態をそのまま変換できないことがあります。

## 保存した曲を削除する (曲の削除)

内部メモリーまたは USB メモリーに保存した曲を削除することができます。

※ USB メモリーに保存した曲を削除する場合は、あらかじめ USB メモリーを USB Memory 端子につないでください。

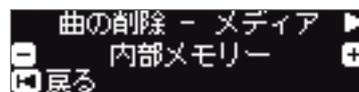
#### メモ

内部メモリーに保存されているすべての曲を削除するときは、メモリーを初期化してください。(P.15)

1. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「曲の削除」を選びます。

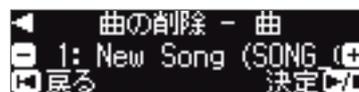


2. [▶/■] (決定) ボタンを押します。
  - 曲の削除画面が表示されます。



3. [-] [+] ボタンで、削除する曲が保存されているメディア (内部メモリーまたは USB メモリー) を選びます。

4. [▶] (右) ボタンを押します。



5. [-] [+] ボタンで、削除する録音データを選びます。

6. [▶/■] (決定) ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは [◀] (戻る) ボタンを押します。

7. [▶] (右) ボタンで「はい」を選び、[▶/■] (決定) ボタンを押します。

削除が実行されます。

**ご注意!**

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USBメモリーを抜いたりしないでください。

8. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

**保存した曲をコピーする (曲のコピー)**

内部メモリーに保存されている曲をUSBメモリーにコピーします。またはUSBメモリーに保存されている曲を内部メモリーにコピーします。

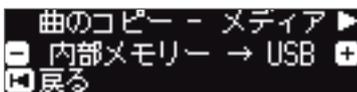
※ オーディオ・ファイルはコピーできません。

※ USBメモリーをUSB Memory 端子につないでない場合は、この操作はできません。

1. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「曲のコピー」を選びます。



2. [▶/■] (決定) ボタンを押します。曲のコピー画面が表示されます。



3. [-] [+] ボタンを押して、コピー元とコピー先のメディア (内部メモリーまたはUSBメモリー) を選びます。

4. [▶] (右) ボタンを押します。



5. [-] [+] ボタンを押して、コピーする録音データを選びます。中止するときは [◀] (戻る) ボタンを押します。

6. [▶/■] (決定) ボタンを押します。コピーが実行されます。

**ご注意!**

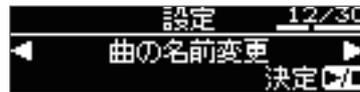
画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USBメモリーを抜いたりしないでください。

7. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

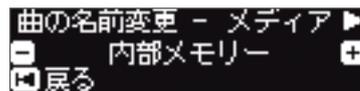
**曲の名前を変更する (曲の名前変更)**

保存した曲の名前を変更することができます。

1. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「曲の名前変更」を選びます。

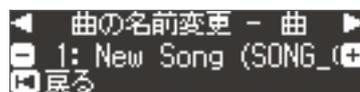


2. [▶/■] (決定) ボタンを押します。曲の名前変更画面が表示されます。



3. [-] [+] ボタンを押して、変更する曲のメディア (内部メモリーまたはUSBメモリー) を選びます。

4. [▶] (右) ボタンを押します。



5. [-] [+] ボタンを押して変更する録音データを選び、[▶] (右) ボタンを押します。

6. 名前を変更します。

[◀] [▶] ボタン	文字を変更する位置を選びます。
[-] [+] ボタン	文字を変えます。

中止するときは [◀] (戻る) ボタンを押します。

7. [▶/■] (決定) ボタンを押します。確認メッセージが表示されます。



中止するときは [◀] (戻る) ボタンを押します。

8. [▶] (右) ボタンで「はい」を選び、[▶/■] (決定) ボタンを押します。名前の変更を実行します。

**ご注意!**

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USBメモリーを抜いたりしないでください。

9. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

## ♪ 自分だけのピアノ音色を作る (ピアノデザイナー)

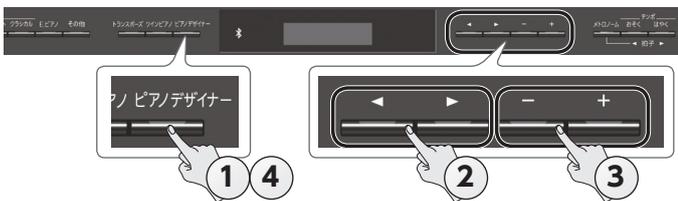
### ピアノデザイナーとは

このピアノでは、ピアノの弦、ペダルの共鳴音など、ピアノのさまざまな音の要素を調節することにより、好みのピアノの音を作ることができます。  
この機能を、「ピアノデザイナー」といいます。



※ [グランド] ボタンの音色のみ、ピアノデザイナーで音色を作ることができます。

※ [グランド] ボタンのそれぞれの音色で、設定が保存されます。



#### 1. [ピアノデザイナー] ボタンを押します。

ピアノデザイナー画面が表示されます。

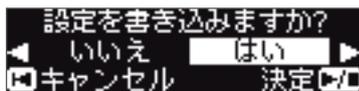


#### 2. [◀] [▶] ボタンで、設定したい項目を選びます。

#### 3. [-] [+] ボタンで、設定値を変えます。

#### 4. ピアノデザイナーを終えるときは、[ピアノデザイナー] ボタンまたは [◀] (戻る) ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは [◀] (戻る) ボタンを押します。

#### 5. [▶] (右) ボタンで「はい」を選び、[▶/■] (決定) ボタンを押します。

ピアノデザイナーの設定が保存されます。

設定を保存しないで終了するときは、[◀] (左) ボタンで「いいえ」を選び、[▶/■] (決定) ボタンを押します。

### メモ

「ピアノデザイナー」の設定は、専用のアプリを iPad などのモバイル機器にインストールすることで、モバイル機器の画面から視覚的にわかりやすく操作することができます。

→ 「アプリと連携して使う」(P.18)

### ピアノデザイナーで設定できる項目

項目	設定値	説明
大屋根	0 ~ 6	グランドピアノの大屋根の開き具合を調節します。 画面上のピアノの大屋根が閉じていくほど、柔らかい音になります。 また、画面上のピアノの大屋根が開いていくほど明るい音になります。
ストリングレゾナンス	オフ、1 ~ 10	アコースティック・ピアノの鍵盤を弾いたときの共鳴音(鍵盤を弾いたときに、すでに押さえている鍵の弦が共鳴する音)を調節します。 値が大きくなるほど共鳴音が大きくなります。
ダンパーレゾナンス	オフ、1 ~ 10	アコースティック・ピアノのダンパー・ペダルを踏んだときの、ピアノ全体のレゾナンス(弾いた鍵盤の音が他の弦に共鳴する音や、本体全体に共鳴する音)を調節します。 値が大きくなるほど共鳴音が大きくなります。
キーオフレゾナンス	オフ、1 ~ 10	アコースティック・ピアノのキー・オフ音(鍵盤を離したときの微妙な音)などの共鳴音を調節します。 値が大きくなるほど減衰時の音質変化が大きくなります。
88 鍵チューニング (*1) (ストレッチ・チューニング)	-50 ~ 0 ~ +50	高音域はより高く、低音域はより低いピアノ独特の調律手法(ストレッチ・チューニング)の設定になります。
88 鍵ボリューム (*1)	-50 ~ 0	1 鍵ごとの音量を調節できます。 値が小さくなるほど音量が小さくなります。
88 鍵キャラクター (*1)	-5 ~ 0 ~ +5	1 鍵ごとの音色を調節できます。 値が大きいほど硬い音になり、小さくすると柔らかい音になります。
設定のリセット		選んでいる音色のピアノデザイナーの設定を、工場出荷時の値に戻すことができます。 1. [▶/■] (決定) ボタンを押します。 中止するときは [◀] (戻る) ボタンを押します。 2. [▶] ボタンで「はい」を選び、[▶/■] (決定) ボタンを押します。 工場出荷時の値に戻ります。

### (\*1) 88 鍵設定のしかた

- 88 鍵設定の項目を選び、[▶/■] (決定) ボタンを押します。
- 設定する鍵を弾いてから、[-] [+] ボタンで設定値を変えます。

### メモ

[◀] [▶] ボタンで、他の 88 鍵設定の項目に移動することができます。

- [◀] (戻る) ボタンを押して、1 つ前の画面に戻ります。

## ♪ ピアノの設定を読み込む／保存する

自分で作ったピアノの設定を、音楽教室などの他の HP601 で使いたいときに、USB メモリーにピアノの設定を保存し、他の HP601 で読み込むことができます。

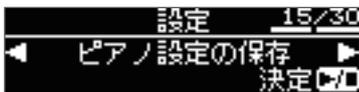
※ HP601 で作られたピアノ設定のみ読み込むことができます。

### ピアノ設定で保存される設定

設定	ページ
スピーカーの音量	P.6
ヘッドホンの音量	P.6
音の響き	P.6
ヘッドホン 3D アンビエンス	P.6
音の明るさ	P.6
キータッチ	P.6
ハンマーレスポンス	P.6
ピアノデザイナーの設定	P.13
マスターチューニング	P.20
調律法	P.20
調律法 主音	P.20
ボリュームリミット	P.21

### ピアノ設定を保存する (ピアノ設定の保存)

1. USB メモリーを USB Memory 端子につなぎます (P.23)。
2. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「ピアノ設定の保存」を選びます。



3. [▶/■] (決定) ボタンを押します。  
ピアノ設定の保存画面が表示されます。



4. ピアノ設定の名前を変更します。

[◀] [▶] ボタン	文字を変更する位置を選びます。
[←] [→] ボタン	文字を変えます。

5. [▶/■] (決定) ボタンを押します。  
保存が実行されます。

#### ご注意!

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

6. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

### ピアノ設定を読み込む (ピアノ設定の読込)

1. USB メモリーを USB Memory 端子につなぎます (P.23)。
2. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「ピアノ設定の読込」を選びます。



3. [▶/■] (決定) ボタンを押します。  
ピアノ設定の読込画面が表示されます。



4. [+] [-] ボタンで、読み込むピアノ設定を選びます。

5. [▶/■] (決定) ボタンを押します。

確認メッセージが表示されます。



中止するときは [◀] (戻る) ボタンを押します。

6. [▶] ボタンで「はい」を選び、[▶/■] (決定) ボタンを押します。

読み込みが実行されます。

#### ご注意!

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

7. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

## ♪ 便利な機能

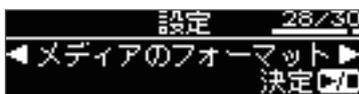
### メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）

内部メモリーまたは USB メモリー（別売）に保存されているすべてのファイルを消去することができます。

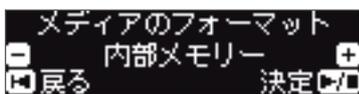
#### ご注意！

- 初期化すると、内部メモリーまたは USB メモリーに保存されているデータはすべて消えてしまいます。
- 内部メモリーの内容以外の設定をお買い上げ時の設定に戻すときは、ファクトリーリセット（P.15）をしてください。

1. USB メモリーを初期化する場合は、USB メモリーを USB Memory 端子につなぎます（P.23）。
2. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「メディアのフォーマット」を選びます。



3. [▶/■]（決定）ボタンを押します。  
メディアのフォーマット画面が表示されます。



中止するときは [◀]（戻る）ボタンを押します。

4. [−] [＋] ボタンで、初期化するメディア（内部メモリーまたは USB メモリー）を選びます。
5. [▶/■]（決定）ボタンを押します。  
確認メッセージが表示されます。



中止するときは [◀]（戻る）ボタンを押します。

6. [▶]（右）ボタンで「はい」を選び、[▶/■]（決定）ボタンを押します。  
初期化が実行されます。

#### ご注意！

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に USB メモリーを抜いたり電源を切ったりしないでください。

7. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

### お買い上げ時の設定に戻す（ファクトリーリセット）

ピアノに保存されている設定を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。この機能を「ファクトリーリセット」といいます。

#### ご注意！

「ファクトリーリセット」後、それまで記憶していた設定はすべて消え、お買い上げ時の設定になります。

#### メモ

この操作をしても、内部メモリーまたは USB メモリー（別売）のデータは消えません。内部メモリーや、USB メモリーのデータをすべて消すときは「メモリーを初期化する（メディアのフォーマット）」（P.15）をご覧ください。

1. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「ファクトリーリセット」を選びます。



2. [▶/■]（決定）ボタンを押します。  
確認メッセージが表示されます。



中止するときは [◀]（戻る）ボタンを押します。

3. [▶] ボタンで「はい」を選び、[▶/■]（決定）ボタンを押します。  
ファクトリーリセットが実行されます。

#### ご注意！

画面に「実行中…」と表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。

4. 電源を入れ直します（P.4）。

## Bluetooth® (ブルートゥース) 機能を使う



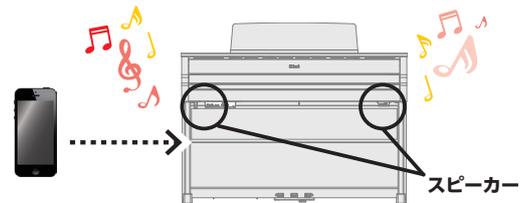
### こんなことができます

Bluetooth 機能を使うと、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器（以下、「モバイル機器」と呼びます）とピアノが無線でつながり、次のことができます。

モバイル機器で再生した音楽を、ピアノのスピーカーで鳴らすことができます。

iPhone などのモバイル機器に保存している音楽データを再生すると、無線でピアノのスピーカーから鳴らすことができます。

→ピアノのスピーカーで音楽を聴く (P.17)



アプリと連携して、ピアノの楽しみかたを広げることができます。

アプリ（ローランド製「Piano Partner 2」や「Piano Designer」など）をモバイル機器にインストールして、ピアノと連携して使うことができます。

→アプリと連携して使う (P.18)

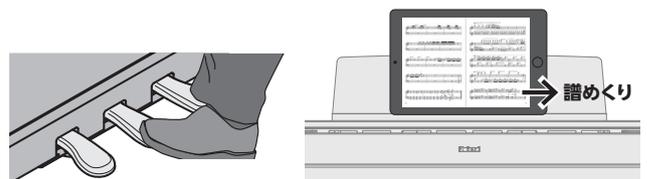


アプリ「Piano Partner 2」音あてゲーム

譜面表示アプリにつなげて、ペダルで譜めくりすることができます。

電子楽譜（譜面表示アプリ「piaScore」など）を iPad などのモバイル機器に表示させて、ペダルで譜めくりすることができます。

→譜面表示アプリの譜めくりをペダルで操作する (P.19)



### ペアリング

Bluetooth 機能を使うには、初めにピアノとモバイル機器を 1 対 1 でつなぐ「ペアリング」が必要です。  
「ペアリング」は、使いたいモバイル機器にピアノを登録する（お互いに認証する）ための手続きです。  
各機能の手順にしたがってペアリングをしてください。



### ピアノとモバイル機器との接続の状態

接続されたモバイル機器の機能に応じて、画面の左下には以下のアイコンが表示されます。

機能	表示されるアイコン
モバイル機器の音楽を聴く	(AUDIO)
アプリと連携する	(MIDI)
ペダルで譜めくりをする	(PAGE)
譜めくりとアプリの連携	(P+MIDI)

※ うまく接続できない場合は、「故障かな?と思ったら」の「Bluetooth 機能に関するトラブル」(P.26) をご覧ください。

## ピアノのスピーカーで音楽を聴く

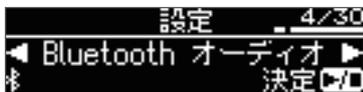
モバイル機器に保存している音楽データを、ワイヤレスでピアノのスピーカーから再生するための設定をします。

※ ピアノとのペアリングが済んだモバイル機器は、再度ペアリングする必要はありません。「初期設定済みのモバイル機器を接続する」(P.17) の手順をご覧ください。

## 初期設定をする (ペアリング)

例として、iPad を使った設定方法を紹介します。Android 機器をお使いの場合、設定方法についてはお使いのモバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

1. 接続したいモバイル機器をピアノ周辺に置きます。
2. ピアノの [設定] ボタンを押して、[<] [▶] ボタンで「Bluetooth オーディオ」を選びます。



3. [▶/■] (決定) ボタンを押します。  
Bluetooth オーディオ画面が表示されます。



4. [▶/■] (決定) ボタンを押します。  
「ペアリング中 ...」と表示され、ピアノはモバイル機器からの応答を待ちます。



ペアリングをやめる場合は、[◀] (戻る) ボタンを押します。

5. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



6. モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「HP601 Audio」をタップします。



※ モバイル機器の画面に「パス・キー」の入力を要求された場合は「0000」（ゼロを4つ）を入力してください。

ペアリングが成功すると、モバイル機器の「自分のデバイス」リストに「HP601 Audio」が追加されます。

ピアノの画面に「接続完了」と表示され、Bluetooth マークの横に「AUDIO」と表示されます。



7. ピアノの [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

初期設定は完了です。

### メモ

ペアリングがうまくいかない場合は、モバイル機器側でペアリングをいったん解除し、手順5からやり直してください。

## 初期設定済みのモバイル機器を接続する

1. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。  
ピアノとモバイル機器が無線につながります。

### メモ

上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「HP601 Audio」をタップしてください。

## オーディオを再生する

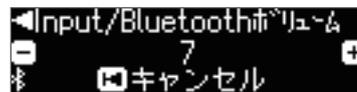
モバイル機器で音楽データを再生すると、ピアノのスピーカーから音が鳴ります。

## オーディオの音量を調節する

通常は、お使いのモバイル機器側で音量を調整します。

それでも思ったような音量にならないときは、以下の操作で調節します。

1. 「初期設定をする (ペアリング)」(P.17) の手順2～3の操作をします。
2. [<] [▶] ボタンで「Input/Bluetooth ボリューム」を選び、[-] [+] ボタンで音量を調節します。



## ピアノを複数台お持ちの場合は

たとえば、音楽教室にある複数台のピアノとモバイル機器のペアリングをするときは、各ピアノにID (識別番号) を設定することで、目的のピアノとペアリングすることができます。

## 複数台のピアノとペアリングをするとき

各ピアノに Bluetooth ID (識別番号) を設定します。

この設定をすると、モバイル機器にデバイス名が表示されるときに、末尾に識別番号付で表示されます (「HP601 Audio1」など)。

1. [設定] ボタンを押して、[<] [▶] ボタンで「Bluetooth ID」を選びます。



2. [▶/■] (決定) ボタンを押します。
3. [-] [+] ボタンで、設定値を変えます。

設定値	説明
0 ~ 99	[0] に設定: 「HP601 Audio」(初期値) [1] に設定: 「HP601 Audio1」

※ ピアノが複数台ある環境でペアリングするときは、ペアリングするピアノとモバイル機器のみ電源を入れることをお勧めします (他の機器の電源は切ってください)。

## アプリと連携して使う

ピアノと連携して、モバイル機器にインストールしたアプリを使えるようにする設定をします。

## ピアノと連携して使えるアプリ例

アプリ名	対応 OS	説明
 Piano Partner 2	iOS Android	内蔵曲の楽譜を表示したり、鍵盤演奏するとコード認識して自動で伴奏を付けたり、聴音トレーニングの音あてゲームなどができます。
 Piano Designer	iOS Android	ピアノの弦やペダルの共鳴など、ピアノのさまざまな音の要素を調節できる「ピアノデザイナー」機能 (P.13) を、視覚的にわかりやすく操作できます。
 Music Data Browser	iOS	ローランドの電子楽器向けミュージックデータの試聴や購入、転送ができます。

※ アプリは App Store、Google Play よりダウンロードできます (無料)。

※ 本書は、発行時点での当社製アプリの情報を掲載しています。最新情報については、ローランド・ホームページをご覧ください。

## 設定をする (ペアリング)

例として、iPad を使った設定方法を紹介します。Android 機器をお使いの場合、設定方法についてはお使いのモバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

※ ピアノと連携してアプリを使う場合は、毎回ペアリングの設定をする必要があります。

### 1. モバイル機器の Bluetooth 設定で、すでに HP601 がペアリングされている場合は、いったん解除します。

「HP601」のデバイス名が表示されないときは、ペアリングされていません。次の手順に進みます。

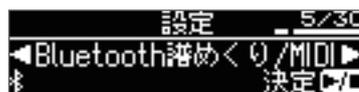


### 2. モバイル機器の Bluetooth 機能を、いったんオフにします。



### 3. 使いたいアプリをインストールしたモバイル機器を、ピアノ周辺に置きます。

### 4. ピアノの [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで [Bluetooth 譜めくり / MIDI] を選びます。



### 5. [▶/■] (決定) ボタンを押して、[-] [+] ボタンで [MIDI] を選びます。



### 6. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



#### ご注意

デバイス名「HP601」が表示されてもタップしないでください。タップしてペアリングした場合は、手順 1 からやり直してください。

### 7. モバイル機器にインストールしたアプリ ([Piano Partner 2] など) の設定で、ピアノとペアリングをします。

ペアリングが完了すると、ピアノ画面の Bluetooth マークの横に [MIDI] と表示されます。以上で設定は完了です。



#### ピアノを複数台お持ちの場合は

たとえば、音楽教室にある複数台のピアノとモバイル機器のペアリングをするときは、各ピアノに ID (識別番号) を設定することで、目的のピアノとペアリングすることができます。

#### 複数台のピアノとペアリングをするとき

各ピアノに Bluetooth ID (識別番号) を設定します。

この設定をすると、モバイル機器にデバイス名が表示されるときに、末尾に識別番号付で表示されます ([HP601\_1] など)。

#### 1. [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで [Bluetooth ID] を選びます。



#### 2. [▶/■] (決定) ボタンを押します。

#### 3. [-] [+] ボタンで、設定値を変えます。

設定値	説明
0 ~ 99	[0] に設定 : 「HP601」 (初期値) [1] に設定 : 「HP601_1」

※ ピアノが複数台ある環境でペアリングするときは、ペアリングしたいピアノとモバイル機器のみ電源を入れることをお勧めします (他の機器の電源は切ってください)。

## 譜面表示アプリの譜めくりをペダルで操作する

ピアノのペダルで、モバイル機器に表示させた電子譜面（譜面表示アプリ「piaScore」など）のページをめくる設定をします。

### 初期設定をする（ペアリング）

例として、iPadを使った設定方法を紹介します。Android 機器をお使いの場合、設定方法についてはお使いのモバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

#### 1. モバイル機器の Bluetooth 設定で、すでに HP601 がペアリングされている場合は、いったん解除します。

「HP601」のデバイス名が表示されないときは、ペアリングされていません。次の手順に進みます。



#### 2. モバイル機器の Bluetooth 機能を、いったんオフにします。



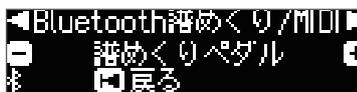
#### 3. 譜面表示アプリをインストールしたモバイル機器を、ピアノ周辺に置きます。

#### 4. ピアノの [設定] ボタンを押して、[◀] [▶] ボタンで「Bluetooth 譜めくり/MIDI」を選びます。



#### 5. [▶/■] (決定) ボタンを押します。

#### 6. [-] [+] ボタンで、「譜めくりペダル」を選びます。



#### 7. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



#### 8. モバイル機器の「HP601」をタップします。



モバイル機器の「ペアリング」をタップします。



※ モバイル機器の画面に「パス・キー」の入力を要求された場合は 0000（ゼロを4つ）を入力してください。

ペアリングが成功すると、モバイル機器の「自分のデバイス」リストにモデル名（「HP601」）が追加されます。

ピアノ画面の Bluetooth マークの横に「PAGE」と表示されます。



#### 9. ピアノの [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

初期設定は完了です。

### 初期設定済みのモバイル機器を接続する

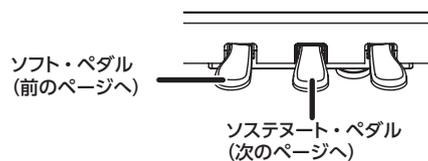
#### 1. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。

ピアノとモバイル機器が無線でつながります。

### 譜めくりをする

#### 1. モバイル機器にインストールした譜面表示アプリを起動して、楽譜を読み込みます。

#### 2. ソステヌート・ペダルで次のページ、ソフト・ペダルで前のページに譜めくりします。



※ ペダルの機能は、「中央/左ペダル機能 (P.21)」を設定していても「譜めくり」が優先されます。

### 譜めくりとソフト/ソステヌート・ペダルの両方を使いたいときは

譜めくり機能を使いながら、ソフト・ペダル/ソステヌート・ペダルとしても使えるように、設定を変えることができます。

#### 1. 「初期設定をする（ペアリング）」(P.19) の手順 4～5 の操作をします。

#### 2. [◀] [▶] ボタンで「譜めくりモード」を選び、[-] [+] ボタンで設定を選びます。

設定値	説明
1 回	1 回ペダルを踏むと、譜めくりします。
2 回	2 回連続で素早くペダルを踏むと、譜めくりします。 1 回踏むと、通常のペダルの動作をします。

#### 3. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

# 各種設定

## いろいろな設定をする (ファンクション・モード)

### ファンクション・モードの基本操作

1. [設定] ボタンを押します。  
[設定] ボタンが点灯し、ファンクション・モードになります。
2. [◀] [▶] ボタンで、設定したい項目を選びます。  
選んだ項目によっては、さらに項目を選ぶ画面が表示される場合があります。
3. [-] [+] ボタンで、設定値を変えます。
4. [設定] ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。

表示 ([◀] [▶] ボタン)	設定値 ([-] [+] ボタン)	説明
マスターチューニング	<b>他の楽器と音の高さを合わせる (マスターチューニング)</b> 他の楽器とアンサンブルするときなど、ピアノの基準ピッチを他の楽器に合わせるすることができます。 基準ピッチとは、一般的に、中央 A (A4) の鍵盤を弾いたときの音の高さのことをいいます。他の楽器とアンサンブル演奏をするときには、きれいなアンサンブルにするためにお互いの基準ピッチを合わせます。他の楽器と基準ピッチを合わせることを「チューニング」といいます。 415.3Hz ~ 440.0Hz ~ 466.2Hz	
調律法	<b>調律法を変える (調律法)</b> バロックなどの古典音楽を当時の調律法で演奏することができます。 現在では、一般に平均律 (現在最も一般的な調律法) を前提に作曲され、演奏されるのがあたりまえとなっていますが、古典音楽の時代にはいろいろな調律法が存在していました。当時の調律法で演奏してみると、その曲が本来もっている和音の響きを味わうことができます。	
	平均律	オクターブを均等に 12 分割してできた調律です。現在のピアノで最も一般的な調律法です。どの音程も同じくらいわずかな濁りが生じます。
	純正調 (長)	主要 3 和音が濁りのない調律です。メロディーの演奏には不向きで転調はできませんが、美しい和音の響きをもちます。
	純正調 (短)	純正調は長調と短調で調律が異なります。
	ピタゴラス音律	哲学者ピタゴラスによって考えられた 4 度と 5 度の濁りをなくした調律です。3 度の和音に濁りが生じますが、シンプルな旋律の曲に向きます。
	キルンベルガー I	純正調と同様に主要 3 和音が純正な調律です。この調律法に適した調で書かれた曲を演奏すると美しい響きとなります (キルンベルガー第一法)。
	キルンベルガー II	キルンベルガー第一法を修正して、使用できる調の制限を少なくした調律法です (キルンベルガー第二法)。
	キルンベルガー III	中全音律と純正調を改良し、転調の自由度を高めた調律法です。すべての調での演奏ができます。調により響きかたが異なるため、平均律に比べて和音の響きが多彩になります (キルンベルガー第三法)。
	中全音律	長 3 度を純正に取り、5 度を純正よりわずかに狭めた調律法です。純正調では大全音と小全音の二種類の全音があるのに対し、この調律では一種類の全音 (中全音) のみになります。限定された調の中で転調できます。
	ベルクマイスター	8 つの純正 5 度と 4 つの狭い 5 度からなる調律法です。すべての調での演奏ができます。調により響きかたが異なるため、平均律に比べて和音の響きが多彩になります (ベルクマイスター第一技法第三番)。
	アラビア音階	アラビア音楽に適した調律です。
主音	<b>調律の主音を設定する (調律法主音)</b> 平均律以外の調律法で演奏するときに、演奏する曲の調に合わせて主音 (長調ならド、短調ならラにあたる音) を選びます。 平均律を選んでいる場合は、主音を選ぶ必要はありません。 C ~ B	
Bluetooth オーディオ	[「ピアノのスピーカーで音楽を聴く」 (P.17) をご覧ください。]	
Bluetooth 譜めくり / MIDI	[「譜面表示アプリの譜めくりをペダルで操作する」 (P.19) をご覧ください。]	
Bluetooth ID	[「ピアノを複数台お持ちの場合は」 (P.17) をご覧ください。]	
曲ボリューム SMF	<b>曲 (SMF 形式) の音量を調節する (曲ボリューム SMF)</b> ファイル形式が SMF の曲の音量を調節します。 ※ SMF 再生モードを「内蔵曲」に設定しているときは、曲ボリューム SMF の値を変えても音量が変わらない部分があります。SMF 再生モードを「外部データ」に設定すると、すべてのパートの音量が変化します。 0 ~ 10	
曲ボリューム AUDIO	<b>曲 (オーディオ) の音量を調整する (曲ボリューム AUDIO)</b> 曲 (オーディオ) の音量を調節します。 0 ~ 10	
Input/Bluetooth ボリューム	<b>オーディオ再生機器や Bluetooth オーディオの音量を調節する (Input/Bluetooth ボリューム)</b> Input 端子にオーディオ再生機器をつないだときや、Bluetooth でオーディオを再生するとき、オーディオ再生機器からの音量を調節します。 0 ~ 10	

表示 ([◀] [▶] ボタン)	設定値 ([-] [+] ボタン)	説明
SMF 再生モード	<b>曲 (SMF 形式) 再生時の鍵盤の音色を設定する (SMF 再生モード)</b>	
	内蔵曲や外部データを再生しながら、鍵盤演奏をするときの音色の設定です。通常は「自動選択」でお使いください。ファイル形式が SMF の曲を再生するときに、内蔵曲と外部データのどちらに最適な設定にするかを選びます。	
	<b>メモ</b> [▶/■] ボタンを押しながら [-] [+] ボタンを押して、SMF 再生モードを切り替えることもできます。 ※ SMF 再生モードを「外部データ」に設定しているときは、ピアノデザイナーの「ダンパー・レゾナンス」効果 (P.13) はかかりません。	
	自動選択	再生する曲に合わせて、「内蔵曲」か「外部データ」に自動的に切り替わります。
	内蔵曲	内蔵曲を再生すると、鍵盤演奏する音色は内蔵曲の音色に自動で変わります。 内蔵曲やこのピアノで録音した曲を再生するときにお勧めです。
外部データ	外部データを再生しても、鍵盤演奏する音色は外部データの音色とは別に設定できます。 市販のミュージックデータなどの外部データを再生するときにお勧めです。	
録音モード	<b>録音するときの形式を選ぶ (録音モード)</b>	
	録音するときに SMF で録音するか、オーディオで録音するかを選びます。	
	<b>メモ</b> [●] ボタンを押しながら [-] [+] ボタンを押して、録音モードを切り替えることもできます。	
	SMF	演奏を録音し、ピアノで再生します。 右手の演奏に重ねて左手を録音したり、片手ずつ録音してあとで両手合わせた演奏を聞いたりできます。
オーディオ	音声データとして録音します。ピアノで録音した演奏を、パソコンやオーディオ・プレーヤーで聴いたり、CD を作成したりすることができます。	
曲の名前変更	[曲の名前を変更する (曲の名前変更)] (P.12) をご覧ください。	
曲のコピー	[保存した曲をコピーする (曲のコピー)] (P.12) をご覧ください。	
曲の削除	[保存した曲を削除する (曲の削除)] (P.11) をご覧ください。	
ピアノ設定の保存	[ピアノ設定を保存する (ピアノ設定の保存)] (P.14) をご覧ください。	
ピアノ設定の読込	[ピアノ設定を読み込む (ピアノ設定の読込)] (P.14) をご覧ください。	
右ペダルパート	<b>ペダルの効果のかけかたを変える (右ペダルパート)</b>	
	デュアル演奏 (P.7) やスプリット演奏 (P.7) のときに右ペダルを踏むと、2 つの音色の両方にペダルの効果がかかりますが、効果を加える音色を選ぶことができます。	
	右手 & 左手	両方の音色に有効
	右手	音色 1 (デュアル演奏時) / 右手音色 (スプリット演奏時) にのみ有効
左手	音色 2 (デュアル演奏時) / 左手音色 (スプリット演奏時) にのみ有効	
中央ペダル機能	<b>ペダルのはたらきを変える (中央ペダル機能)</b>	
	電源投入時、中央のペダルはソステヌート・ペダルとしてはたらきます (P.5)。これを、さまざまなはたらきに変えることができます。 ※ ペダルの機能は、「中央/左ペダル機能」よりも「譜めくり (P.19)」が優先されます。	
	ソステヌート	ソステヌート・ペダルのはたらきをします。
	再生/停止	[▶/■] ボタンと同じはたらきをします。
レイヤー	ペダルを踏むとデュアル演奏時の音色 2 が重なって鳴ります。 ※ デュアル演奏時のみ効果がかけられます。	
左ペダル機能	<b>ペダルの効果のかけかたを変える (左ペダル機能)</b>	
	電源投入時、左側のペダルはソフト・ペダルとしてはたらきます (P.5)。これを、さまざまなはたらきに変えることができます。 ※ ペダルの機能は、「中央/左ペダル機能」よりも「譜めくり (P.19)」が優先されます。	
	ソフト	ソフト・ペダルのはたらきをします。
	再生/停止	[▶/■] ボタンと同じはたらきをします。
レイヤー	ペダルを踏むとデュアル演奏時の音色 2 が重なって鳴ります。 ※ デュアル演奏時のみ効果がかけられます。	
ディスプレイコントラスト	<b>ディスプレイの明るさを調節する (ディスプレイコントラスト)</b>	
ディスプレイの明るさを調節することができます。		
1 ~ 10		
ボリュームリミット	<b>音量の最大値を設定する (ボリュームリミット)</b>	
	音量の最大値を設定することができます。誤って [ボリューム] ボタンを操作して、必要以上に音量が大きくなってしまふことを防ぐことができます。	
20、40、60、80、100		

表示 ([◀] [▶] ボタン)	設定値 ([−] [+] ボタン)	説明
スピーカー・オート・ミュート		<b>外部スピーカーと内蔵スピーカーの両方から音を出す (スピーカー・オート・ミュート)</b> お買い上げ時の状態では、PHONES 端子に外部スピーカー (アンプ内蔵) を接続すると、内蔵スピーカーから音を出さないように設定されています。しかし、設定を変えることで、外部スピーカーと内蔵スピーカーの両方から音を出すことができます。 ※ 設定を変えると、外部スピーカーから出力される音の音質は変わります。
	オン	外部スピーカーからのみ音がでます (初期値)。
	オフ	外部スピーカーと内蔵スピーカーの両方から音が出ます。
ローカルコントロール		<b>シーケンサーとつないだときの 2 度鳴りを防ぐ (ローカルコントロール)</b> USB で MIDI シーケンサーを接続したときには、この項目で、ローカル・オフに設定します。 通常のシーケンサーはスルー機能がオンに設定されているため、鍵盤を弾いた音が 2 重に重なって聴こえたり、途切れたりします。これを防ぐために鍵盤と内部の音源を切り離すことを、「ローカル・オフ」といいます。
	オフ	ローカルコントロールがオフになります。 鍵盤が内部の音源と切り離された状態です。鍵盤を弾いても音は鳴りません。
	オン	ローカルコントロールがオンになります。 鍵盤が内部の音源とつながっている状態です。
MIDI 送信チャンネル		<b>MIDI 送信チャンネルを変える (MIDI 送信チャンネル)</b> このピアノが送信する MIDI チャンネルを設定します。 なお、このピアノは 1 ~ 16 のすべてのチャンネルを受信します。
	オフ	1 ~ 16
言語 (Language)		<b>ディスプレイに表示される言語を変える (言語 (Language))</b> 画面に表示される音色名や設定などの言語を選ぶことができます。
		English, Japanese
オートオフ		<b>一定時間が経つと自動で電源が切れるようにする (オートオフ)</b> このピアノは演奏や操作をやめてから 30 分経過すると、自動的に電源が切れます (工場出荷時の設定)。 自動で電源を切る必要がない場合は、「オートオフ」を「オフ」に設定します。
		オフ、10、30、240 (分)
自動メモリーバックアップ		<b>自動で設定を保存する (自動メモリーバックアップ)</b> 電源を入れ直しても設定が変わらないように、自動で設定を保存しておくことができます。
	オフ	設定を保存しません。電源を入れ直すと設定が初期値に戻ります。
	オン	自動で設定を保存します。 保存される設定については、「設定すると保存される設定 (自動メモリーバックアップ)」(P.22) をご覧ください。
メディアのフォーマット		「メモリーを初期化する (メディアのフォーマット)」(P.15) をご覧ください。
ファクトリーリセット		「お買い上げ時の設定に戻す (ファクトリーリセット)」(P.15) をご覧ください。
バージョン		このピアノのシステム・プログラムのバージョンを表示します。

### 自動で保存される設定

このピアノは、以下の設定が自動で保存されます。  
電源を入れ直しても設定を記憶しています。

設定	ページ
スピーカーの音量	P.6
ヘッドホンの音量	P.6
Bluetooth 機能のすべての設定	P.16
Input/Bluetooth ボリューム	P.20
オートオフ	P.22

### 設定すると保存される設定 (自動メモリーバックアップ)

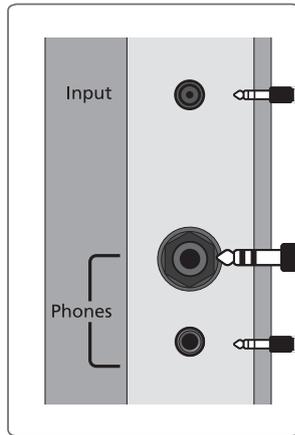
以下の項目は、電源を入れ直すと初期値に戻ります。  
「自動で設定を保存する (自動メモリーバックアップ)」(P.22) を「オン」にすることで、以下の設定が保存されます。

設定	ページ
音の響き	P.6
ヘッドホン 3D アンビエンス	P.6
音の明るさ	P.6
キータッチ	P.6
ハンマーレスポンス	P.6
バランス (スプリット、デュアル)	P.7
ツインピアノ・モード	P.7
メトロノーム (音量、音色、強拍)	P.8
マスターチューニング	P.20
調律法	P.20
主音	P.20
SMF 再生モード	P.21
右ペダルパート	P.21
ディスプレイコントラスト	P.21
ボリュームリミット	P.21
スピーカー・オート・ミュート	P.22
MIDI 送信チャンネル	P.22
言語	P.22

# 楽器をつなぐ

## Input 端子

オーディオ・プレーヤーなどのオーディオ再生機器をつなぐと、オーディオ再生機器の音をピアノから鳴らすことができます。Input 端子につないだ機器の音量は、Input/Bluetooth ボリューム (P.20) で調整することができます。

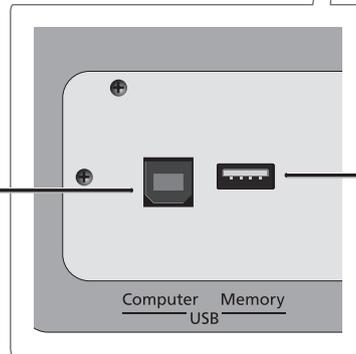
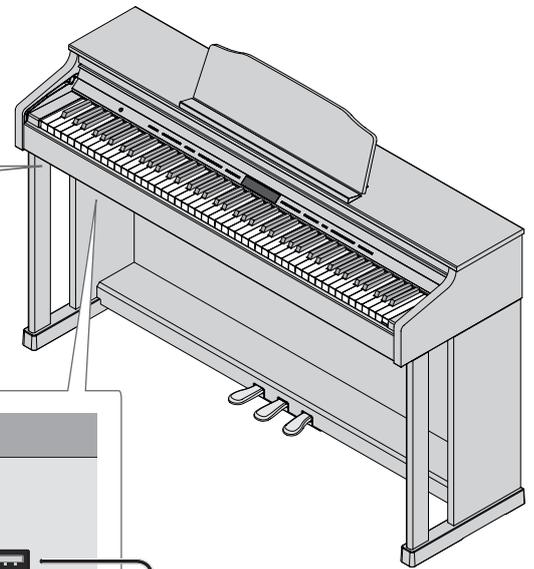


## Phones 端子



ステレオのヘッドホンをつなぎます。このピアノにはヘッドホン端子が 2 つあるので、2 人で同時にヘッドホンを使うことができます。ピアノ本体から音が聞こえるようなヘッドホン 3D アンビエンス効果がかけられます。

- ※ ヘッドホン 3D アンビエンス効果はピアノ音色以外には効きません。
- ※ ヘッドホン 3D アンビエンス効果は、スピーカー・オート・ミュートがオフのときは効きません (P.22)。
- ※ ヘッドホン 3D アンビエンス効果はオフにすることもできます (P.6)。
- ※ ヘッドホン 3D アンビエンス効果は [音の響き] ボタンで調節できます。



## USB Computer 端子

市販の USB ケーブルを使用して、ピアノの USB Computer 端子とお使いのパソコンの USB 端子をつなぐと、以下のことができます。

- MIDI に対応したソフトウェアで再生した SMF をピアノで鳴らすことができます。
- シーケンサー・ソフトウェア (別売) との間で MIDI 情報をやりとりして、より多彩な音楽制作、編集などを行うことができます。



## USB Memory 端子

USB メモリーを使うと、以下のことができます。

- パソコンにある WAVE ファイルや MIDI ファイル (SMF) をこのピアノで再生できます。
  - ピアノの演奏をオーディオ録音できます。
  - オーディオ録音した曲を、パソコンで再生できます。
- ※ USB メモリーのアクセスランプが点滅している間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーや電源コードを抜いたりしないでください。
- ※ USB メモリーは、ローランドが販売しているものを使用してください。それ以外の USB メモリーを使用したときの動作は保証できません。

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞りと、すべての機器の電源を切ってください。

# 安全上のご注意

## 警告

### オートオフ機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます（オートオフ機能）。自動的に電源が切れないようにするには、オートオフ機能を解除してください（P.22）。

### 付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のもの、AC100V の電源で使用してください。

### 付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。また、付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

## 注意

### 移動するときの注意

本機を移動するときには以下のことを確認したあと、必ず 2 人以上で水平に持ち上げて運んでください。このとき、手をはさんだり、足の上に落としたりしないように注意してください。

- ・ 機器本体とスタンドを固定しているネジがゆるんでいないか、確認する。ゆるんでいる場合は、しっかり固定する。
- ・ 電源コードをはずす。
- ・ 外部機器との接続をはずす。
- ・ スタンドのアジャスターを上げる (P.5)。
- ・ 蓋を閉じる。
- ・ 譜面立てをはずす。

### 指などをはさまないように注意する

下記の可動部を操作するとき、指などをはさまないように注意してください。お子様が使用されるときは、大人のかたが監視/指導してください。

- ・ 蓋 (P.2)
- ・ ペダル (P.5)

## 注意

### 椅子を使用するときの注意

椅子を使用するときは、必ず次の事項を守ってください。

- ・ 椅子で遊んだり、踏み台にしたりしない。
- ・ 2 人以上で腰掛けない。
- ・ 腰掛けたままで、高さ調節しない。

・ 椅子の足を止めているボルトがゆるんでいたら、腰掛けない。(ゆるみがあるときは随時付属の工具で締め直してください)

- ・ シート下の隙間 (昇降装置の金属部) には絶対に手を入れないでください。手をはさんだりけがをしたりする恐れがあります。

### 小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。

- ・ 付属品/取り外しが可能な部品  
ネジなど

# 使用上のご注意

## 設置について

- ・ 至近距離から照らす照明器具（ピアノ・ライトなど）や強力なスポット・ライトで長時間同じ場所を照らさないでください。変形、変色することがあります。

- ・ 鍵盤の上にものを置いたままにしないでください。発音しなくなるなど、故障の原因になります。

## お手入れについて

- ・ お手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。木目にそって全体を均一の力で拭くようにします。同じところばかり強くこすると、仕上げを損なうことがあります。

- ・ 本機のペダルは真鍮（しんちゅう）製です。真鍮は酸化して黒ずむ性質があります。酸化した場合のお手入れには、市販の金属みがきをお使いください。

## 鍵盤の取り扱いについて

- ・ ペンなどで書き込みをしたり、印を付けたりしないでください。インクが表面のラインに染み込んで落ちなくなったり、シールなどを貼ったりしないでください。粘着力の強いものでは、シールがはがれなくなったり、粘着剤によって変色したりすることがあります。
- ・ ひどい汚れを落とすときは、研磨剤入っていない市販の鍵盤クリーナーを使ってください。はじめは軽く拭くようにします。汚れが落ちないときは、傷が付かないように徐々に力を入れながら拭くようにしてください。

## 修理について

- ・ 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っていますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。

- ・ 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 8 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

## その他の注意について

- ・ スマートフォン/タブレットなどのモバイル機器を本機に置いて使うときの注意
  - ・ 本機やモバイル機器に傷が付かないよう、端末の取り扱いには十分注意してお使いください。
  - ・ モバイル機器の転倒や落下防止のため、蓋を動かさないでください。

- ・ 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。

- ・ 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。

- ・ ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。

- ・ 演奏時の打鍵音や振動は床や壁を通じて意外によく伝わります。周囲に迷惑がかけられないように注意しましょう。

- ・ 譜面立てを使用するときは、譜面立てに強い力を加えないでください。

- ・ 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

## 外部メモリーの取り扱い

- ・ 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。

- ・ 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
- ・ 静電気による破損を防ぐため、取り扱い前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

## 電波に関する注意

- ・ 以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・ 本製品を分解/改造する
- ・ 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがす

- ・ 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）や特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ・ 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

- ・ 移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して、万一、本機が原因と思われる有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上で、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてはローランドお客様相談センターにご相談ください。

- ・ その他、発生した問題についてお困りの場合も、ローランドお客様相談センターにご相談ください。  
※ ローランドお客様相談センターへの連絡につきましては、取扱説明書などに記載の「お問い合わせの窓口」をご覧ください。

- ・ 認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。

## 知的財産権について

- ・ 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- ・ 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。

- ・ 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。

- ・ 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をすることに関しては、当社の許諾を必要としません。

- ・ 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。

- ・ 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。

- ・ Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

- ・ 本製品は、T-Engine フォーラム ([www.t-engine.org](http://www.t-engine.org)) の T-License 2.0 に基づき μT-Kernel ソースコードを利用しています。

- ・ Roland, SuperNATURAL, Ivory Feel は、日本およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。

- ・ MIDI は、社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。

- ・ 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

- ・ 本製品は Jansson (<http://www.digip.org/jansson/>) ソースコードを使用しています。Copyright © 2009-2017 Petri Lehtinen <petri@digip.org> Released under the MIT license <http://opensource.org/licenses/mit-license.php>

# 故障かな?と思ったら

症状	確認事項	対策	ページ
ヘッドホンを 使って消音して も、鍵盤を弾く と打鍵音がカタ カタ鳴る	このピアノの鍵盤は、アコースティック・ピアノの構造をシミュレートして設計されています。アコースティック・ピアノの場合でも、鍵盤を押したときに打鍵音が実際に出ています。打鍵音がカタカタ鳴っていても故障ではありません。		-
電源が勝手に 切れる	オートオフの設定が「オフ」以外になっていませんか?	自動で電源を切る必要がない場合は、オートオフの設定を「オフ」にしてください。	P.22
電源が入らない	ACアダプターが正しくつながっていますか?		-
Input 端子につ ないだ機器の 音量が小さい	Input/Bluetooth ボリュームが小さくなっていませんか?		P.20
	つないでいる機器の音量が小さくなっていませんか?		-
操作できない	「パネル・ロック」が設定されていますか?	「パネル・ロック」を解除してください。	P.9
ヘッドホンを差 してもスピー カーから音が 出る	スピーカー・オート・ミュートが「オフ」になっていませんか?	スピーカー・オート・ミュートを「オン」にしてください。	P.22
<b>ピアノの音が正しく鳴らない</b>			
音が鳴らない	音量が小さくなっていませんか?		P.6
	Phones 端子にヘッドホンや変換プラグを差していませんか?また、スピーカーから音を出ししない設定にしているときは、音は鳴りません。		P.22
	ローカルコントロールが「オフ」になっていませんか?	ローカルコントロールを「オン」にしてください。	P.22
鍵盤や曲の音 程、ピッチがず れている	移調 (トランスポーズ) の設定をしていますか?		P.7
	マスターチューニングの設定は適切ですか?		P.20
	調律法の設定は適切ですか?		P.20
	88 鍵チューニングの設定は適切ですか?		P.13
弾いた音が途 切れる	ダンパー・ペダルを踏んで、多くの音を鳴らしていませんか?また、デュアル演奏をしたり曲と一緒に演奏したりしていませんか?		-
鍵盤を弾くと、 2つの音が鳴る	2つの音色を重ねる「デュアル演奏」の状態になっていませんか?	[デュアル] ボタンを押してデュアル演奏を解除してください。	P.7
	外部シーケンサー等につなげていませんか?	別の音源から鳴らないようにするには、DAW ソフトウェアのソフト・スルーの設定を「オフ」にしてください。	-
		ローカルコントロールが「オン」になっている場合は、ローカルコントロールを「オフ」にしてください。	P.22
デュアル演奏/ スプリット演奏 のとき、音色の 聞こえかたが変 わる	2つの音色を重ねる「デュアル演奏」や左手と右手で違う音色にする「スプリット演奏」では、音色の組み合わせによっては聞こえかたが変わることがあります。		P.7
音の響き効果 をオフにしても 残響音がする	アコースティック・ピアノの特徴を再現しているためで、故障ではありません。音の響き効果をオフにしても、アコースティック・ピアノ本来の響きが残ります。		-
高音部で、あ る鍵盤から音が 急に変わる	アコースティック・ピアノの特徴を再現しているためで、故障ではありません。鍵あたりの弦の本数や、巻線/単線の境目では音色が変わります。		-
「キーン」とい う音がする	ヘッドホンからは聞こえないとき ピアノに何らかの問題があると考えられます。お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。		-
	ヘッドホンからも聞こえるとき 「キーン」という金属的な響きを少なくするには、以下の設定を調整してください。 ・音の響き (P.6) ・「ストリングレゾナンス」 (P.13)		-
鍵盤を押したと き、押ししてい ない鍵盤の音 もかすかに聞こ える	鳴らしている音の倍音 (整数倍の振動数をもつ音) が共鳴して、響きが変わったように聞こえる場合がありますが、故障ではありません。 ピアノデザイナーの「ストリングレゾナンス」の設定値を下げるか、オフにしてください。		P.13

症状	確認事項	対策	ページ
低音がおかしい /ビリビリと共 鳴する	音量を最大にしていませんか?	音量を小さくしてください。	P.6
	ヘッドホンからも聞こえるとき ピアノに何らかの問題があると考えられます。お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。 ヘッドホンからは聞こえないとき スピーカーから出力される音が大きいため、ピアノ周辺のもの共鳴しています。共鳴を抑えるには、次のことにご注意ください。 ・ピアノを壁などから 10 ~ 15cm 離して設置する。 ・音量を控える。 ・共鳴している器具などから遠ざける。	-	
<b>ペダルが正しく鳴らない</b>			
ペダルを踏ん だときに異音が する	ペダル下にあるアジャスターが床から浮いていませんか?	ペダルを使用するにつれ、アジャスターがゆるんだ可能性があります。アジャスターを調節してください。	P.5
ペダルが効か ない、または 効きつばなしに なる	ペダルが正しくつながっていますか? ペダル・コード、底面版にあるペダル端子を確認してください。		-
	ピアノの電源を入れたまま、ペダル・コードを抜き差ししていませんか?	ピアノの電源を切ってから、ペダル・コードを抜き差ししてください。	-
	右ペダルパートが「右手」や「左手」に設定されていますか?		P.21
	ツインピアノがオンになっていませんか? ツインピアノをオンにすると、右ペダルは右側鍵盤のみ、左ペダルは左側鍵盤のみに効くようになります。		P.7
ペダルのはたらきを 変えていませんか?	ペダル機能 (中央ペダル機能、左ペダル機能) の設定を戻してください。	P.21	
	Bluetooth 機能の譜めくりを使っていませんか?		P.19
<b>曲が正しく鳴らない</b>			
録音するとピ アノの音質が 変わってしまう	ピアノデザイナーで作った音色で録音していませんか? オーディオ録音した音を再生していませんか?	ピアノデザイナーの一部の設定は、曲を再生したときに再現されないことがあります。 SMF 録音してください。	P.10
曲の中の、あ る楽器の音だ けが鳴らない	パート・ボタンが消えていますか?	パート・ボタンを押して点灯させてください。	P.9
曲を再生しても 音が鳴らない	曲の音量が「0」になっていませんか?		P.20
曲の音量が小 さい/録音と再 生で音量が違う	曲の音量の値が小さくなっていませんか?		P.20
USB メモリー に保存されて いる曲を再生 できない	再生できるファイルは、オーディオ・ファイルと MIDI ファイルの 2 種類です。		-
	オーディオ・ファイル	拡張子「.WAV」、16 ビット・リニア サンプリング・レート [44.1kHz]	-
	MIDI ファイル	拡張子「.MID」	-
USB メモリー の保存されて いる曲の曲名 が画面に表 示されない	ファイル内の曲名情報が空もしくはスペースのみになっていませんか? 拡張子は「.MID」ですか?拡張子が「.MID」のファイルのみ画面に曲名を表示できます。		-
<b>録音できない</b>			
SMF 録音でき ない	パート・ボタンの中から、録音するボタンを選びましたか?		P.10
オーディオ録 音できない	USB Memory 端子に USB メモリーをつないでいますか?		-

## Bluetooth 機能に関するトラブル

症状	確認事項/対策	ページ								
モバイル機器の Bluetooth デバイス一覧に、ピアノ名 (HP601) が現れない	<p>ピアノの Bluetooth 機能が「オフ」になっていませんか?</p> <p>Bluetooth 機能を「オン」にしてください。  <b>Bluetooth オーディオ機能:</b>                      ファンクション・モード → 「Bluetooth オーディオ」 → 「Bluetooth オーディオ」を「オン」  <b>Bluetooth 譜めくり/MIDI 機能:</b>                      ファンクション・モード → 「Bluetooth 譜めくり/MIDI」 → 「Bluetooth 譜めくり&amp;MIDI (*1)」を「オン」                      (*1) ファンクション・モードの「Bluetooth 譜めくり/MIDI」の設定によっては、「Bluetooth 譜めくり」または「Bluetooth MIDI」と表示される場合もあります。</p>	P.17 P.18 P.19								
Bluetooth オーディオに接続できない (ピアノのスピーカーで音楽を聴く設定ができない)	<p>ピアノの Bluetooth オーディオ機能が「オン」の場合</p> <p>Bluetooth 譜めくり機能が「オン」、Bluetooth 譜めくり/MIDI 機能が「譜めくりペダル」または「譜めくりペダル&amp;MIDI」の場合</p> <p>Bluetooth 譜めくり機能が「オン」、Bluetooth 譜めくり/MIDI 機能が「MIDI」または「譜めくりペダル&amp;MIDI」の場合</p> <p>モバイル機器側の Bluetooth 設定にピアノ (HP601 Audio) がデバイスとして見えている場合</p> <p>ピアノ (HP601 Audio) がデバイスとして見えていない場合</p>	<p>[HP601 Audio] というデバイスが現れます。</p> <p>[HP601] というデバイスが現れます。</p> <p>[Piano Partner 2] などのアプリ内の設定から確認できます。</p> <p>モバイル機器のデバイスの登録を一度解除してから、モバイル機器の Bluetooth 機能を「オフ」→「オン」し、ペアリングし直してください。</p> <p>モバイル機器の Bluetooth 機能を「オフ」→「オン」してから、ピアノからペアリングを開始し、ペアリングし直してください。</p>	P.16							
Bluetooth 譜めくりに接続できない (ペダルで譜めくりする設定ができない)	<p>Bluetooth 譜めくり/MIDI 機能の「譜めくり」と「MIDI」を切り替えると、モバイル機器との接続ができなくなることがあります。いったん接続を解除してから、接続し直してください。</p> <p>モバイル機器側の Bluetooth 設定にピアノ (HP601) がデバイスとして見えている場合</p> <p>ピアノ (HP601) がデバイスとして見えていない場合</p>	<p>モバイル機器のデバイスの登録を一度解除してから、モバイル機器の Bluetooth 機能を「オフ」→「オン」し、ペアリングし直してください。</p> <p>モバイル機器の Bluetooth 機能を「オフ」→「オン」してから、接続し直してください。</p>	P.19 P.16							
Bluetooth MIDI に接続できない (アプリと連携して使う設定ができない)	<p>Bluetooth 譜めくり/MIDI 機能の「譜めくり」と「MIDI」を切り替えると、モバイル機器との接続ができなくなることがあります。モバイル機器のデバイスの登録を一度解除してから、モバイル機器の Bluetooth 機能を「オフ」→「オン」し、ペアリングし直してください。</p> <p>モバイル機器の Bluetooth 設定ではなく、「Piano Partner 2」などのアプリ内の設定から接続してください。アプリ「Music Data Browser」は、iOS のみ対応しています。</p>	<p>モバイル機器との接続ができなくなることがあります。モバイル機器の Bluetooth 機能を「オフ」→「オン」し、ペアリングし直してください。</p>	P.18							
譜めくり機能と MIDI 機能をペアリングできない	<p>譜めくり機能と、アプリと連携する (MIDI) 機能は、最初の接続時にモバイル機器側でデバイス名を選んでペアリングします。ピアノからペアリング開始の操作は必要ありません。</p>									
譜めくり機能と MIDI 機能を同時に使用できない	<p>Bluetooth 譜めくり/MIDI 機能を、「譜めくりペダル&amp;MIDI」に設定してください。</p>									
ペアリングしたモバイル機器がつかない	<p>接続してもすぐに切れてしまうときや、譜めくり機能と、アプリと連携する (MIDI) 機能を切り替えたときは、モバイル機器の Bluetooth スイッチを一度「オフ」にし再度「オン」にすると、接続される場合があります。</p>									
モバイル機器にキーボードが表示されなくなった (使えなくなった)	<p>譜めくり機能を使うと、使用するモバイル機器のアプリによっては文字入力のキーボードが表示されない (キーボードが使えない) ことがあります。</p> <p>譜めくり機能を使いながら、モバイル機器のキーボードを表示する場合は、ピアノの【伴奏】 ボタンを押しながら【左手】 ボタンを押します。</p> <p>モバイル機器のキーボードを消すには、再度【伴奏】 ボタンを押しながら【左手】 ボタンを押します。</p>	-								
ペダルを踏んでも譜めくりしない	<p>お使いの譜面表示アプリによっては、文字入力用キーボードの【↑】【↓】キーで譜めくりするものと、「Page Up」「Page Down」キーで譜めくりするものがあります。</p> <p>ソフト・ペダル/ノズル・ペダルを踏んでも譜めくりしない場合は、この譜めくり操作キーを変更してお試しください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「譜面表示アプリの譜めくりをペダルで操作する」(P.19) の手順 4~5 の操作をします。</li> <li>【◀】【▶】ボタンで「譜めくりペダルアサイン」を選び、【-】【+】ボタンで機能を選びます。</li> </ol> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カーソル上/下</td> <td>キーボードの【↑】【↓】キーで譜めくりするアプリを使う場合の設定です。</td> </tr> <tr> <td>ページ上/下</td> <td>キーボードの【Page Up】【Page Down】キーで譜めくりするアプリを使う場合の設定です。</td> </tr> <tr> <td>カーソル左/右</td> <td>キーボードの【←】【→】キーで譜めくりするアプリを使う場合の設定です。</td> </tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> <li>【設定】 ボタンを押して、ファンクション・モードを終了します。</li> </ol>	設定	説明	カーソル上/下	キーボードの【↑】【↓】キーで譜めくりするアプリを使う場合の設定です。	ページ上/下	キーボードの【Page Up】【Page Down】キーで譜めくりするアプリを使う場合の設定です。	カーソル左/右	キーボードの【←】【→】キーで譜めくりするアプリを使う場合の設定です。	-
設定	説明									
カーソル上/下	キーボードの【↑】【↓】キーで譜めくりするアプリを使う場合の設定です。									
ページ上/下	キーボードの【Page Up】【Page Down】キーで譜めくりするアプリを使う場合の設定です。									
カーソル左/右	キーボードの【←】【→】キーで譜めくりするアプリを使う場合の設定です。									

**メモ**

内容を確認しても解決しないときは、ローランドのサポート・ページをご覧ください。  
<https://www.roland.com/jp/support/>

# 🎵 こんな表示が出たら (エラー・メッセージ)

表示	意味
エラー 2	書き込み中にエラーが発生しました。USB メモリーが破損している可能性があります。 別の USB メモリーを挿入して、もう一度操作してください。または、USB メモリーを初期化してください (P.15)。 内部メモリーが破損している可能性があります。内部メモリーをフォーマットしてください (P.15)。
エラー 10	USB メモリーが挿入されていません。 USB メモリーを挿入してから、もう一度操作してください。 内部メモリーが破損している可能性があります。内部メモリーをフォーマットしてください (P.15)。
エラー 11	保存先の空き容量が足りません。 別の USB メモリーを挿入するか、不要なファイルを削除して、もう一度操作してください。
エラー 14	読み込み中にエラーが発生しました。USB メモリーが破損している可能性があります。 別の USB メモリーを挿入して、もう一度操作してください。または、USB メモリーを初期化してください (P.15)。 内部メモリーが破損している可能性があります。内部メモリーをフォーマットしてください (P.15)。
エラー 15	ファイルを読むことができません。このピアノが対応していないデータ形式です。
エラー 18	対応していないオーディオ・フォーマットです。 WAV 形式、44.1kHz、16 ビット・リニアのオーディオ・ファイルを使用してください。
エラー 30	ピアノの記憶容量が足りません。
エラー 40	MIDI から一度にたくさんの MIDI データが送られてきたため、ピアノで処理できません。 MIDI から送信されるデータ量を減らしてください。
エラー 43	MIDI 通信でエラーが発生しました。 つないでいる MIDI 機器を確認してください。
エラー 51	システムに異常がある可能性があります。 操作をやり直してください。何度か操作をやり直してもこの表示が出る場合は、ローランドお客様相談センターにご連絡ください。
エラー 65	USB Memory 端子に過大な電流が流れました。 USB メモリーに異常がないか確認したあと、電源を入れ直してください。

## お問い合わせの窓口

### ● 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間： 月曜日～金曜日 10:00～17:00 (弊社規定の休日を除く)

\*IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に"0000"  
(ゼロ4回)をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

\*上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

### ● 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ <https://www.roland.com/jp/>

# 音色一覧

## ピアノ - グランド

No.	音色名
1	コンサートピアノ
2	バラードピアノ
3	メロウピアノ
4	ブライトピアノ

### メモ

ピアノ [グランド] ボタンの音色のみ、ピアノデザイナーで音色を作ることができます。

## ピアノ - アップライト

No.	音色名
1	アップライト
2	メロウ UP
3	ブライト UP
4	ロックピアノ
5	ラグタイムピアノ

## ピアノ - クラシカル

No.	音色名
1	フォルテピアノ
2	メロウフォルテ
3	ブライトフォルテ
4	チェンバロ
5	チェンバロ 8'+4'

## ピアノ - E. ピアノ

No.	音色名
1	トレモロ EP
2	ポップ EP
3	ビンテージ EP
4	FM E. ピアノ
5	EP ベル
6	'60s EP
7	クラビ
8	ステージフェイザ
9	'70s EP
10	E. グランド

## その他

No.	音色名
1	スロー Str 1
2	エピック Str
3	リッチ Str
4	オーケストラ Str
5	オーケストラ
6	ウィンズ
7	ハーブ
8	バイオリン
9	アタック Str
10	フルート
11	チェロ
12	Orch プラス
13	ピチカート
14	スロー Str 2
15	ソフトパッド
16	マジカルピアノ
17	ジャズスキャット
18	ベース+シンバル
19	パイプオルガン
20	ネイゾンフルート
21	コンボオルガン
22	バラードオルガン
23	チャーチオルガン 1
24	チャーチオルガン 2
25	ゴスペルスピン
26	フルストップ
27	メロウバー
28	ライトオルガン
29	ロワーオルガン
30	'60s オルガン

※ 音色番号 31 ~ 39 を選ぶと鍵盤でドラム・セットの音が鳴らせます。

※ 40 番以降は伴奏用の GM2 音色です。

※ 音色グループ「その他」で [-] [+] ボタンを押し続けて音色を切り替えると、19、31、40 番の音で音色の切り替わりが止まります。

※ 次の音色を選ぶ際には、一度 [-] [+] ボタンから指を離して、再度押してください。

# 内蔵曲一覧

No.	曲名	作曲者
<b>リスニング</b>		
1	献呈	シューマン、リスト編曲
2	革命のエチュード	ショパン
3	Floral Pursuits *	ドリーブ、オリジナル編曲
4	くるみ割り人形より「花のワルツ」(ジャズ・アレンジ) *	チャイコフスキー、オリジナル編曲
5	フィガロの結婚より「序曲」	モーツァルト
6	舟歌	ショパン
7	ひばり	グリーンカ、バラキレフ編曲
8	ピアノ・ソナタ 第23番「熱情」第1楽章	ベートーベン
9	ピアノ・ソナタ 第23番「熱情」第2楽章	ベートーベン
10	ピアノ・ソナタ 第23番「熱情」第3楽章	ベートーベン
11	ワルツ 作品 34-1	ショパン
12	英雄ポロネーズ	ショパン
13	ノクターン 第20番	ショパン
14	ます	シューベルト、リスト編曲
15	水の反映	ドビュッシー
16	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
17	ラ・カンパネラ	リスト
18	スケルツォ 第2番	ショパン
<b>名曲</b> *楽譜集「ローランド・クラシック・ピアノ名曲集」が付属しています。		
1	箏笛の踊り *	チャイコフスキー
2	愛のあいさつ *	エルガー
3	メヌエットト長調	J.S. バッハ
4	前奏曲	J.S. バッハ
5	調子のよい鍛冶屋	ヘンデル
6	かっこう	ダカン
7	トルコ行進曲	モーツァルト
8	ピアノ・ソナタ 八長調 K.545 第1楽章	モーツァルト
9	トルコ行進曲	ベートーベン
10	エリーゼのために	ベートーベン
11	楽興の時 第3番	シューベルト
12	ガヴォット	ゴセック
13	ソナチネ 作品 36の1 第1楽章	クレメンティ
14	ソナチネ 作品 20の1 第1楽章	クラーウ
15	狩の歌	メンデルスゾーン
16	春の歌	メンデルスゾーン
17	歌の翼に	メンデルスゾーン
18	ノクターン 第2番	ショパン
19	別れの曲	ショパン
20	雨だれの前奏曲	ショパン
21	小犬のワルツ	ショパン
22	ワルツ 第7番	ショパン
23	幻想即興曲	ショパン
24	ラデツキー行進曲	ヨハン・シュトラウス 1世
25	トロイメライ	シューマン
26	楽しい農夫	シューマン
27	乙女の祈り	パダジェフスカ
28	お人形の夢と目ざめ	オースティン
29	婚礼の合唱	ワーグナー
30	愛の夢 第3番	リスト
31	花の歌	ランゲ
32	トロイカ	チャイコフスキー
33	ハンガリア舞曲 第5番	ブラームス
34	美しく青きドナウ	ヨハン・シュトラウス 2世
35	ユモレスク	ドボルザーク
36	月の光	ドビュッシー
37	アラベスク 第1番	ドビュッシー
38	ゴリウオッグのケーキウォーク	ドビュッシー
39	おまえが欲しい	サティ
40	ジムノパディ 第1番	サティ
<b>コレクション</b> *楽譜集「楽しく弾けるピアノ・アレンジ・コレクション」が付属しています。		
1	きらきら星	フランス民謡
2	メリーさんのひつじ	外国曲
3	森のくまさん	アメリカ民謡
4	山の音楽家	ドイツ民謡
5	大きな古時計	ヘンリー・ワーク
6	花	滝 廉太郎
7	浜辺の歌	成田 為三
8	紅葉	岡野 貞一
9	雪	文部省唱歌
10	ハッピー・バースディ	M. ヒル、P. ヒル
11	恋に落ちた時	ピクター・ヤング
12	朝日のごとくさわやかに	シグマンド・ロンバーグ
13	時の過ぎゆくままに	ハーマン・フップフェルト
14	サマータイム	ジョージ・ガーシュイン
15	ムーンライト・セレナーデ	グレン・ミラー
16	メープル・リーフ・ラグ	スコット・ジョップリン
17	ティコ・ティコ	ゼキーニャ・ジ・アブレウ
18	四季より「春」	ビバルディ
19	軍隊行進曲	シューベルト

No.	曲名	作曲者
20	二人でお茶を	ビンセント・ユーマンズ
<b>セレクション</b>		
1	レット・イット・ゴー〜ありのままで〜	クリスティン・アンダーソン=ロペス、ロバート・ロペス
2	アンダー・ザ・シー	アラン・メンケン
3	いつか王子様が	フランク・チャーチル
4	ハイ・ホー	フランク・チャーチル
5	アンパンマンのマーチ	三木 たかし
6	夢をかなえてドラえもん	黒須 克彦
7	さんぽ	久石 譲
8	トゥーランドットより「誰も寝てはならぬ」	プッチーニ
9	惑星より「木星」	ホルスト
10	ラプソディ・イン・ブルー	ジョージ・ガーシュイン
<b>スケール</b> *巻末に「スケール楽譜集」が付いています。		
1~36	メジャー・スケール、マイナー・スケール (ハーモニック、メロディック)	-
<b>ハノン</b>		
1~20	ハノン 第1~20番	ハノン
<b>バイエル</b>		
1~106	バイエル 第1~106番	バイエル
<b>ブルグミュラー</b>		
1	素直な心	ブルグミュラー
2	アラベスク	
3	牧歌	
4	子供のパーティー	
5	無邪気	
6	前進	
7	清いながれ	
8	優美	
9	狩	
10	やさしい花	
11	せきれい	
12	お別れ	
13	なぐさめ	
14	ステイリエンス	
15	バラード	
16	小さな嘆き	
17	おしゃべり	
18	不安	
19	アヴェ・マリア	
20	タランテラ	
21	天使の声	
22	舟歌	
23	家路	
24	つばめ	
25	貴婦人の乗馬	
<b>ツェルニー 100番</b>		
1~100	ツェルニー 100番 1~100	ツェルニー

※これらの内蔵曲を個人で楽しむ以外に権利者の許諾なく使用することは、法律で禁じられています。

※ SMF 再生モード (P.21) を「内蔵曲」に設定しているときは、曲ボリューム SMF (P.20) の値を変えても音量が変わらないパートがあります。SMF 再生モードを「外部データ」に設定すると、すべてのパートの音量が変化します。

※ (\*) マークの付いている曲は、ローランド株式会社によるアレンジです。著作権はローランド株式会社が所有しています。

※ リスニング 1、2、6~18 は、ピアノ・ソロ曲です。伴奏はついていません。

※ スケール・カテゴリーの楽譜は、巻末の「スケール楽譜集」をご覧ください。

※ バイエルとブルグミュラーの楽譜は、以下の市販のものをお買い求めください。

- 標準バイエル・ピアノ教則本
- ブルクミュラー 25 の練習曲

# MEMO

# MEMO

# MEMO

# スケール楽譜集

ピアノに内蔵されている、スケール・カテゴリーの曲に対応した楽譜集です。  
スケールの練習にご活用ください。

## 効果的な練習のしかた

♪ 練習する調の曲を聴いて耳で覚えましょう。

➔ 曲を選ぶ／再生する：取扱説明書 P.9

♪ はじめは、テンポを遅くして片手ずつ練習します。

楽譜を見ながら正しい指使いを覚えましょう。

片手ずつ練習するときは、パート・ミュート機能を使います。

➔ テンポを変える：取扱説明書 P.8

➔ 再生するパートを選ぶ（パート・ミュート）：取扱説明書 P.9

♪ 間違えずに弾けるようになったら、テンポを速くしていきます。

なめらかに粒を揃えて弾くことを意識しましょう。

伴奏をよく聴いて、テンポを一定に保ちながら弾きます。

練習を録音して聴き返しをすると、自分の演奏の良いところや悪いところが確認できます。

➔ 録音する：取扱説明書 P.9

# Major Scales (メジャー・スケール)

C major (ハ長調、C-Dur)

G major (ト長調、G-Dur)

D major (ニ長調、D-Dur)

A major (イ長調、A-Dur)

E major (ホ長調、E-Dur)

B major (ロ長調、H-Dur)

# Major Scales (メジャー・スケール)

F major (ヘ長調、F-Dur)

1 2 3 4 1 2 3 1 4 1 4 1 4 1 3 1 4

5 4 3 2 1 3 2 1 4 1 3 1 3 1 4 1 3 1

B<sup>b</sup> major (変口長調、B-Dur)

2 1 2 3 1 2 3 4 1 3 1 4 1 3 1 4 1 3 1 2

3 2 1 4 3 2 1 3 1 4 1 2 1 4 1 3 1 4 1

E<sup>b</sup> major (変ホ長調、Es-Dur)

2 1 2 3 4 1 2 3 1 4 1 3 1 4 1 3 1 4 1 2

3 2 1 4 3 2 1 3 1 4 1 2 1 4 1 3 1 4 1

A<sup>b</sup> major (変イ長調、As-Dur)

2 3 1 2 3 1 2 3 4 1 3 1 4 1 3 1 4 1 3 1 3

3 2 1 4 3 2 1 3 1 4 1 2 1 4 1 3 1 4 1

D<sup>b</sup> major (変ニ長調、Des-Dur)

2 3 1 2 3 4 1 2 3 1 4 1 3 1 4 1 3 1 4 1 3

3 2 1 4 3 2 1 3 1 4 1 2 1 4 1 3 1 4 1

G<sup>b</sup> major (変ト長調、Ges-Dur)

2 3 4 1 2 3 1 2 4 1 3 1 2 1 3 1 4 1 3 1 4

4 3 2 1 3 2 1 4 1 3 1 2 1 3 1 4 1 3 1 4

## Minor Scales (マイナー・スケール)

A minor (イ短調、a-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

Musical notation for the A minor Harmonic minor scale in 4/4 time. The treble clef part shows the ascending and descending scales with fingerings: 1 2 3 1, 2 3 4 1, 3 1, 5, 1 3, 1 4, 1 3. The bass clef part shows the descending and ascending scales with fingerings: 5 4 3 2, 1 3 2 1, 4 1, 3 1, 3 1, 4 1 3, 1.

A minor (イ短調、a-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

Musical notation for the A minor Melodic minor scale in 4/4 time. The treble clef part shows the ascending and descending scales with fingerings: 1 2 3 1, 2 3 4 1, 3 1, 5, 1 3, 1 4, 1 3. The bass clef part shows the descending and ascending scales with fingerings: 5 4 3 2, 1 3 2 1, 4 1, 3 1, 3 1, 4 1 3, 1.

E minor (ホ短調、e-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

Musical notation for the E minor Harmonic minor scale in 4/4 time. The treble clef part shows the ascending and descending scales with fingerings: 1 2 3 1, 2 3 4 1, 3 1, 5, 1 3, 1 4, 1 3. The bass clef part shows the descending and ascending scales with fingerings: 5 4 3 2, 1 3 2 1, 4 1, 3 1, 3 1, 4 1 3, 1.

E minor (ホ短調、e-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

Musical notation for the E minor Melodic minor scale in 4/4 time. The treble clef part shows the ascending and descending scales with fingerings: 1 2 3 1, 2 3 4 1, 3 1, 5, 1 3, 1 4, 1 3. The bass clef part shows the descending and ascending scales with fingerings: 5 4 3 2, 1 3 2 1, 4 1, 3 1, 3 1, 4 1 3, 1.

B minor (口短調、h-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

Musical notation for the B minor Harmonic minor scale in 4/4 time. The treble clef part shows the ascending and descending scales with fingerings: 1 2 3 1, 2 3 4 1, 3 1, 5, 1 3, 1 4, 1 3. The bass clef part shows the descending and ascending scales with fingerings: 4 3 2 1, 4 3 2 1, 3 1 4, 1, 4 1, 3 1, 4 1.

B minor (口短調、h-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

Musical notation for the B minor Melodic minor scale in 4/4 time. The treble clef part shows the ascending and descending scales with fingerings: 1 2 3 1, 2 3 4 1, 3 1, 5, 1 3, 1 4, 1 3. The bass clef part shows the descending and ascending scales with fingerings: 4 3 2 1, 4 3 2 1, 3 1 4, 1, 4 1, 3 1, 4 1.

## Minor Scales (マイナー・スケール)

F# minor (嬰へ短調、fis-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

F# minor (嬰へ短調、fis-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

C# minor (嬰ハ短調、cis-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

C# minor (嬰ハ短調、cis-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

G# minor (嬰ト短調、gis-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

G# minor (嬰ト短調、gis-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

## Minor Scales (マイナー・スケール)

D minor (ニ短調、d-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

Musical notation for the D minor Harmonic minor scale in 4/4 time. The piece is written for piano with a grand staff. The right hand (treble clef) starts with a descending scale: D4, C4, B3, A3, G3, F3, E3, D3. The left hand (bass clef) starts with an ascending scale: D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4, D4. The key signature has two flats (Bb and Eb). Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. The scale concludes with a whole note chord of D3, F3, and Ab3.

D minor (ニ短調、d-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

Musical notation for the D minor Melodic minor scale in 4/4 time. The piece is written for piano with a grand staff. The right hand (treble clef) starts with a descending scale: D4, C4, B3, A3, G3, F3, E3, D3. The left hand (bass clef) starts with an ascending scale: D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4, D4. The key signature has two flats (Bb and Eb). Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. The scale concludes with a whole note chord of D3, F3, and Ab3.

G minor (ト短調、g-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

Musical notation for the G minor Harmonic minor scale in 4/4 time. The piece is written for piano with a grand staff. The right hand (treble clef) starts with a descending scale: G4, F4, E4, D4, C4, B3, A3, G3. The left hand (bass clef) starts with an ascending scale: G3, A3, B3, C4, D4, E4, F4, G4. The key signature has one flat (Bb). Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. The scale concludes with a whole note chord of G3, Bb3, and D4.

G minor (ト短調、g-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

Musical notation for the G minor Melodic minor scale in 4/4 time. The piece is written for piano with a grand staff. The right hand (treble clef) starts with a descending scale: G4, F4, E4, D4, C4, B3, A3, G3. The left hand (bass clef) starts with an ascending scale: G3, A3, B3, C4, D4, E4, F4, G4. The key signature has one flat (Bb). Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. The scale concludes with a whole note chord of G3, Bb3, and D4.

C minor (ハ短調、c-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

Musical notation for the C minor Harmonic minor scale in 4/4 time. The piece is written for piano with a grand staff. The right hand (treble clef) starts with a descending scale: C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The left hand (bass clef) starts with an ascending scale: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5. The key signature has three flats (Bb, Eb, and Ab). Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. The scale concludes with a whole note chord of C4, Eb4, and G4.

C minor (ハ短調、c-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

Musical notation for the C minor Melodic minor scale in 4/4 time. The piece is written for piano with a grand staff. The right hand (treble clef) starts with a descending scale: C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The left hand (bass clef) starts with an ascending scale: C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5. The key signature has three flats (Bb, Eb, and Ab). Fingerings are indicated by numbers 1-5 above or below notes. The scale concludes with a whole note chord of C4, Eb4, and G4.

## Minor Scales (マイナー・スケール)

F minor (ヘ短調、f-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

Musical notation for F minor Harmonic minor scale. The score is in 4/4 time with a key signature of three flats (B-flat, E-flat, A-flat). The right hand (treble clef) plays the scale ascending and descending with fingering: 1 2 3 4, 1 2 3 1, 4 1, 4, 1 4, 1 3, 1 4. The left hand (bass clef) plays the scale ascending and descending with fingering: 5 4 3 2, 1 3 2 1, 4, 1, 3, 1, 3 1, 4, 1 3, 1. The piece concludes with a double bar line and a repeat sign.

F minor (ヘ短調、f-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

Musical notation for F minor Melodic minor scale. The score is in 4/4 time with a key signature of three flats. The right hand (treble clef) plays the scale ascending and descending with fingering: 1 2 3 4, 1 2 3 1, 4 1, 4, 1 4, 1 3, 1 4. The left hand (bass clef) plays the scale ascending and descending with fingering: 5 4 3 2, 1 3 2 1, 4, 1, 3, 1, 3 1, 4, 1 3, 1. The piece concludes with a double bar line and a repeat sign.

B<sup>b</sup> minor (変口短調、b-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

Musical notation for B-flat minor Harmonic minor scale. The score is in 4/4 time with a key signature of four flats (B-flat, E-flat, A-flat, D-flat). The right hand (treble clef) plays the scale ascending and descending with fingering: 2 1 2 3, 1 2 3 4, 1 3 1, 4, 1 3, 1 4, 1 3, 1 2. The left hand (bass clef) plays the scale ascending and descending with fingering: 2 1 3 2, 1 4 3 2, 1 3, 1, 4, 2, 4 1, 3, 1, 4, 1 3, 1. The piece concludes with a double bar line and a repeat sign.

B<sup>b</sup> minor (変口短調、b-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

Musical notation for B-flat minor Melodic minor scale. The score is in 4/4 time with a key signature of four flats. The right hand (treble clef) plays the scale ascending and descending with fingering: 2 1 2 3, 1 2 3 4, 1 3 1, 4, 1 3, 1 4, 1 3, 1 2. The left hand (bass clef) plays the scale ascending and descending with fingering: 2 1 3 2, 1 4 3 2, 1 3, 1, 4, 2, 4 1, 3, 1, 4, 1 3, 1. The piece concludes with a double bar line and a repeat sign.

E<sup>b</sup> minor (変ホ短調、es-Moll) : Harmonic minor scale (和声的短音階)

Musical notation for E-flat minor Harmonic minor scale. The score is in 4/4 time with a key signature of five flats (B-flat, E-flat, A-flat, D-flat, G-flat). The right hand (treble clef) plays the scale ascending and descending with fingering: 2 1 2 3, 4 1 2 3, 1 4, 1 4, 1 4, 1 3, 1 4, 1 2. The left hand (bass clef) plays the scale ascending and descending with fingering: 2 1 4 3, 2 1 3 2, 1 4, 1 3 2 3, 1 4, 1 3 1, 4, 1. The piece concludes with a double bar line and a repeat sign.

E<sup>b</sup> minor (変ホ短調、es-Moll) : Melodic minor scale (旋律的短音階)

Musical notation for E-flat minor Melodic minor scale. The score is in 4/4 time with a key signature of five flats. The right hand (treble clef) plays the scale ascending and descending with fingering: 2 1 2 3, 4 1 2 3, 1 4, 1 4, 1 4, 1 3, 1 4, 1 2. The left hand (bass clef) plays the scale ascending and descending with fingering: 2 1 4 3, 2 1 3 2, 1 4, 1 3 2 3, 1 4, 1 3 1, 4, 1. The piece concludes with a double bar line and a repeat sign.

